

建築施工管理基準

【下水道編】

平成17年2月

京都市上下水道局

建築施工監督実施基準(案) 目次

第1章 総 則

1 目 的	(1)
2 適用範囲	(1)
3 管理の実施及び方法	(1)
(1) 施工管理	(1)
(2) 施工計画書等	(1)
(3) 材料搬入の報告	(1)
(4) 施工の確認及び報告	(1)
(5) 監督員の立会い及び工事記録の整備	(2)
(6) 工事写真	(2)
4 本書の使用に当たって	(2)
(1) 凡 例	(2)
(2) 単 位	(2)
(3) 管理目標値	(2)
(4) 所定と所要	(3)

第2章 管 理 表

1 一般共通事項	1
2 仮設工事	8
3 土工事	10
4 地業工事	13
5 鉄筋工事	21
6 コンクリート工事	26
7 鉄骨工事	33
8 コンクリートブロック, ALCパネル, 押出成形セメント板工事	41
9 防水工事	45
10 石工事	51
11 タイル工事	53
12 木工事	57
13 屋根及びといた工事	59
14 金属工事	62
15 左官工事	64
16 建具工事	66

17	カーテンウォール工事	6 9
18	塗装工事	7 2
19	内装工事	7 4
20	ユニット及びその他の工事	7 8
21	排水工事	8 0
22	舗装工事	8 2
23	植栽工事	8 5

第 1 章 総 則

第1章 総 則

1 目 的

この基準は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築工事共通仕様書（以下「共仕」という。）」の第1章 1.2.2「施工計画書」、1.4.2「材料の搬入」及び1.5.4「一工程の施工の確認及び報告」等に基づき、契約図書に定められた条件に適合するか否かの確認方法を示している。この基準に基づき統一的に施工管理することにより適正な施工品質の確保を図ることを目的とする。

2 適用範囲

この基準は、京都市上下水道局が施行する建築工事に適用する。ただし、工事の種類、規模、施工条件等より、この基準によりがたいときは監督員の承諾する他の方法によることができる。

3 管理の実施及び方法

(1) 施工管理

「共仕」1.3.1に規定する施工管理は、第2章管理表に基づいて適切に実施する。

(2) 施工計画書等

「共仕」1.2.1、1.2.2及び1.2.3に規定する実施工程表、施工計画書、施工図等は第2章管理表に基づいて作成し、監督員の指示した時期に提出し、承諾を受けるものとする。ただし、施工計画書については、品質計画(使用予定の材料、仕上げの程度、性能、精度等の目標、品質管理及び体制)のみ承諾を受けるものとする。

(3) 材料搬入の報告

「共仕」1.4.2に規定する材料搬入の報告は、第2章管理表に基づいて作成し、監督員に速やかに報告する。

(4) 施工の確認及び報告

「共仕」1.5.4に規定する一工程の施工の確認及び報告は、第2章管理表の「管理内容」欄に示す工程が終了した時点で、「管理方法」欄に示す方法により施工の確認を行い、その結果を「提出資料」欄に示す文書により監督員に報告する。

(5) 監督員の立会い及び工事記録の整備

工事請負契約書第14条「監督員の立会い及び工事記録の整備等」に規定する記録は、第2章管理表に基づいて作成する。

なお、第2章管理表の「提出資料」欄は、必要と思われる工事記録の標準例を示しているため、当該工事において必要な提出資料については、あらかじめ、監督員と協議の上、定めることとする。

(6) 工事写真

「共仕」1.2.4「工事の記録」に規定する工事写真は、第2章管理表に基づいて作成し、使用材料の品質、施工状況、出来高が明確に確認でき、又は判定できるものとする。

なお、工事写真の撮り方については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方建築編」を参考とする。

4 本書の使用に当たって

(1) 凡 例

承：監督員の承諾を受けることが「共仕」に示されているもの

検：監督員の検査を受けることが「共仕」に示されているもの

立：監督員の立会いを受けることが「共仕」に示されているもの

共：施工精度の許容誤差が「共仕」に示されているもので、この値は遵守しなければならないことを指し示す。

□：チェックマーク。レ点を記入するための枠を示す。

(写)：原本の写しを提出資料とするものを示す。

(2) 単 位

特記のない数字の単位はミリメートルとする。

(3) 管理目標値

図面や、仕様書に規定された数値は施工図、施工計画書として他工種との取合いや納まりを考慮した数値に書き改められ、この数値を目標に施工がされる。目標とした数値と施工結果には当然多少の差が生じるが、この差がある限度以上になると発注者の要求する品質や、次工程に支障をきたす要因としての管理限度を超える。この管理限度を具体的数値で示したものが許容値である。品質管理の手法においては、この許

容値を超えないように管理を実施しなければならない。

このために目標値を定めて管理を実施するが、この目標値を管理目標値という。目標値はでき上がりの品質が許容差の中に入るように設定されるものであるから、施工品質の平均とばらつき（偏差）の状態や、許容値の方向性（±側に許容されるか、+側又は-側のみにしか許容されないか）などを考慮して決めるべき性質のものである。

こうした考えから、このような意味合いの目標値を標準的に定めるのは難しい。第2章管理表における管理目標値の欄には、**共**印を併記したものは「共仕」によって規定された許容値を示し、その他は許容差として標準的な数値や「共仕」による施工により得られるできばえとして満足できる範囲を示している。

（4）所定と所要

「共仕」でいう、「所定」とは契約図書、法令等、遵守すべきものとして定まっていることをいう。

「所要」とは、用途、部位、立地条件などによって、要求される施工精度や状態が違ってくることを勘案し、請負者が施工計画書の「品質計画」で施工の仕上り状態について具体的に定めることをいう。

これを監督員が承諾することによって合意の品質を形成する。

第 2 章 管理表

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
一般事項	契約図書	工事請負契約書	契約に基づく契約関係書類の提出時期	—	写しを現場常備とし、内容を確認し、契約時、施工中及び完成時の提出書類を監督員が指示する様式集等により確認	□工程表 □現場代理人等通知書 □その他			
		設計図書	現場説明に対する質問回答書 現場説明書 謄本図面(特記仕様書、図面) 共通仕様書 疑義、現場の納まり	1.1.1 1.1.6 1.1.8	現場に常備し、工事区分を確認 食い違い、不明部分は監督員と協議し、結論を得ておく。	□工事区分一覧表 (関連工事取合い部等の 工事区分) □打合せ議事録			
		火災保険	保険の種類、加入期間	—	種別、期間、金額の確認	□保険証書(写)			
		建設業退職金共済組合	該当者の有無 下請負人等への確認	—	購入枚数・使用の確認 不要の場合、その理由書を提出	□掛金収納書(写)又は 不提出理由書			
	官公署その他への届出手続等	提出書類	書式、提出先、提出時期、検査時期	1.1.3 1.1.5	関連する法令等に従って速やかに手続を行う。	□提出書類(写) □許可書等の原本又は写し			
	工事実績情報の登録	登録の手続	特記確認 (登録の有無) (受注時)契約締結後10日以内 (変更時)変更契約締結後10日以内 (完了時)工事完成後10日以内	1.1.4	定められた期間内に、工事実績情報の登録手続を行う。 登録内容についてあらかじめ報告し、登録されることを証明する資料を監督員に提出	□受領書(写) (受注時) □ " (変更時) □ " (完了時)			
	工事の一時中止に係る事項		状況調査、報告	1.1.9	現場の状況を直ちに監督員へ報告	□状況調査及び理由書	現場状況	適 宜	
	工期の変更に係る資料の提出		関係資料の提出時期	1.1.10	工期変更に必要な書類を監督員に提出	□変更工程表 □変更理由書 □工期算出根拠	変更理由の 状況写真	適 宜	
	特許権等		協議	1.1.11	出願する場合、あらかじめ発注者と協議				
	文化財その他の埋蔵物		状況調査、報告	1.1.12	状況を直ちに監督員へ報告し、指示を受ける	□状況調査報告書	現場状況	適 宜	
	発生材の処理等	引渡しを要するもの	特記確認 (種別、数量、整理方法、集積場所)	1.1.13 1.1.15	集積場所に整理し、調書を監督員に提出	□発生材調書	集積状況	適 宜	
		再生資源の利用を図るもの	特記確認 (種別、数量、搬出場所、処理方法)		所定の再資源化施設に搬入し、調書を監督員に提出	□発生材調書 □処理報告書 (□マニフェスト票(写)) □再生資源利用「促進」計画書(実施書)	搬出状況 搬出施設		

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
一般事項	発生材の処理等	その他のもの	処理方法、搬出場所 発生材の再利用、再生資源化及び再生資源の積極的活用	1. 1. 13 1. 1. 15	関係法令等を確認の上適切に処理し、監督員に報告	<input type="checkbox"/> 処理報告書 (□マニフェスト票(写)) <input type="checkbox"/> 再生資源利用「促進」計画書(実施書)	搬出状況 搬出施設	適宜	
工事関係 図書	実施工程表	実施工程表	主要イベント・各イベントの わり調整 概成工期(実施工程表に明記)	1. 1. 7 1. 2. 1	承 工事の着手に先立ち作成 関連工事との調整、天候、製作 期間等を考慮 承 変更する必要が生じた場合、 当該部分の施工に先立ち、遅滞な く変更 監督員の指示があった場合、補足 として、週間又は月間工程表、工種 別工程表等を作成し、監督員に提出	<input type="checkbox"/> 実施工程表 <input type="checkbox"/> 週間工程表 <input type="checkbox"/> 月間工程表 <input type="checkbox"/> 工種別工程表 (監督員の指示による)			
		実施工程表 の補足とし ての工程表							
	施工計画書	総合施工計 画書	設計図書及び関係法令等との 整合 工事概要、施工体系、工程、総 合仮設計画、施工上の問題点、主 要工事の施工方針、管理・自主検 査計画、安全衛生管理、環境保全 対策等	1. 1. 15 1. 2. 2	工種別の施工計画書作成のより 所となるよう、工事の総合的な計画 について記載し、監督員に提出	<input type="checkbox"/> 総合施工計画書			
		工種別の施 工計画書	(詳細は各節参照)		各節を参照し作成、監督員に提出 承 品質計画に係る部分	<input type="checkbox"/> 工種別の施工計画書 (詳細は各節参照)			
	施工図等		(詳細は各節参照)	1. 1. 7 1. 2. 3	承 (詳細は各節参照) 作成に際し、別契約の施工上密 接に関連する工事との納まり等 について十分検討	<input type="checkbox"/> 施工図 <input type="checkbox"/> 原寸図 <input type="checkbox"/> 工作図・製作図等			
	工事の記録	工事打合せ 書	指示、協議事項	1. 2. 4	監督員の指示事項、協議事項等 を記録	<input type="checkbox"/> 打合せ議事録			
工事実施状 況報告書		進ちょく度		毎月又は毎週作成して実施工程 との比較、検討	<input type="checkbox"/> 工事実施状況報告書				
試験、施工		試験・施工が適切であることの 証明		(詳細は各節参照)	(詳細は各節参照)				

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
工事関係 図書	工事の記録	工事写真	施工が適切であることの証明 （「工事写真の撮り方建築編」参 照）	1. 2. 4	（詳細は各節参照）		（詳細は各節参照）		
工事現場 管理	施工管理	施工管理体制	現場代理人, 主任技術者又は監 理技術者などによる管理体制	1. 1. 5 1. 3. 1	建設業法に基づいた資格の確認 施工体制台帳を作成し, 監督員 に提出 施工体系図の現場掲示		<input type="checkbox"/> 現場組織表 <input type="checkbox"/> 資格証明書(写) <input type="checkbox"/> 施工体制台帳		
			資格	1. 3. 2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
	電気保安技 術者		適用の有無 資格又は知識及び経験	1. 3. 3	資格を証明する資料により確認 （当該工事における電気工作物の 工事を行うに当たり必要な電気主 任技術者） 承 電気主任技術者以外の場合		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
	工事用電力 設備の保安 責任者		資格	1. 3. 4	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
	施工条件	施工時間	施工日, 時間の遵守	1. 3. 5	施工日, 施工時間を適切に決定 する。 実施工程表に反映させる。 承 施工時間指定で変更をする場合		<input type="checkbox"/> 変更理由書 <input type="checkbox"/> 休日・夜間作業通知		
			その他	施工条件		施工時間以外の施工条件を確認			
品質管理			(詳細は各節参照)	1. 2. 2	(詳細は各節参照) 品質計画に基づき, 指導, 確認, 試験等を行う。 検 必要に応じて受ける。 監督員と協議	<input type="checkbox"/> 試験計画書 <input type="checkbox"/> 試験成績書 (詳細は各節参照)			
				1. 3. 6					
				1. 4. 3					
				1. 4. 4					
1. 5. 4	試験又は検査の結果, 疑義が生 じた場合	1. 5. 4 ～ 1. 5. 6							
施工中の安 全確保及び 環境保全	安全衛生管 理体制	安全衛生組織, 緊急時の連絡体 制, 警備体制	安全衛生組織, 緊急時の連絡体 制, 警備体制	1. 3. 7	現場の状況に合わせた体制の確立		<input type="checkbox"/> （現場に掲示）緊急時 連絡体制, 安全衛生組 織表		
				1. 1. 15 1. 2. 2 1. 3. 7	関係法令等の確認 安全対策の確認 公衆災害発生防止策の立案		<input type="checkbox"/> 総合施工計画書 <input type="checkbox"/> 工種別の施工計画書 (詳細は各節参照)		

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
工事現場 管理	施工中の安全確保及び環境保全	環境保全	状況調査	1. 1. 15 1. 2. 2 1. 3. 7	関係法令等を確認し、環境保全対策を立案		<input type="checkbox"/> 総合施工計画書		
		近隣等との折衝	状況調査、誠意ある対応	1. 3. 7	監督員に、事前に概要を報告 また、経過について記録し、遅滞なく報告		<input type="checkbox"/> 状況報告書	状況写真	適 宜
		作業環境	美化	1. 2. 2 1. 3. 7	計画の立案 作業環境の美化		<input type="checkbox"/> 総合施工計画書		
	交通安全管理		工事材料及び土砂等の搬送計画 通行経路の選定 その他車両の通行に関する事項	1. 2. 2 1. 3. 8	関係機関と十分打合せ、計画を立案 その計画に基づき、交通安全管理を行う。		<input type="checkbox"/> 総合施工計画書 <input type="checkbox"/> 工種別の施工計画書 (詳細は各節参照)		
	災害時の安全確保		人命の安全確保、二次災害の防止、状況調査	1. 3. 9	安全を確保し、監督員に経緯を報告		<input type="checkbox"/> 事故報告書 <input type="checkbox"/> 処理報告書	状況写真	適 宜
材 料	材料の品質等		品質及び性能の証明 規格品の証明	1. 4. 1	設計図書に定める品質及び性能を有することを確認し、証明書を提出 規格品は、規格証明書にて確認		<input type="checkbox"/> 品質証明書 <input type="checkbox"/> 性能証明書 <input type="checkbox"/> 規格証明書		
			調査を要する材料		調査に先立ち、調査表等を監督員に提出		<input type="checkbox"/> 調査表等		
			材質、仕上げの程度、色合等		承 設計図書に定められた材料の見本を提出又は提示 色、柄等については、監督員の指示を受ける。		<input type="checkbox"/> 見本		
			設計図書に定められた規格等が改正された場合	1. 1. 8	監督員と協議				
材料の搬入			搬入報告（品質・性能）	1. 4. 2	設計図書との整合を確認し、材料の搬入ごとに監督員へ報告		<input type="checkbox"/> 品質証明書 <input type="checkbox"/> 性能証明書 <input type="checkbox"/> 規格証明書	搬入写真	適 宜
			搬入報告（数量）				<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書		
材料の検査等		品質、性能、数量	1. 4. 3	(詳細は各節参照) 検 種別ごとに原則として受ける。 規格品は対象から除く。 検 合格した材料と同じ種別の材料は、以後、原則として抽出					

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
材 料	材料の検査 に伴う試験		(詳細は各節参照)		(詳細は各節参照)					
			試験計画書 試験場所	1.4.4	試験方法について、設計図書を 確認。試験に先立ち試験計画書を 作成し、監督員に提出 承 (設計図書に定めがない場合の 試験方法) 承 試験場所を決定		<input type="checkbox"/> 試験計画書			
	試験の実施	1.2.4 1.4.4	立 原則とする。 承 試験結果を確認し、提出		<input type="checkbox"/> 試験成績書	状況写真	適 宜			
	材料の保管		保管の方法	1.4.5	保管の方法・場所の確認			状況写真	適 宜	
施 工	施 工		施工内容の確認	1.1.7 1.2.1 ～ 1.2.4 1.5.1	設計図書、施工計画書、実施工 程表、施工図等に従い施工 関連工事の工程調整			<input type="checkbox"/> 施工報告書	状況写真	適 宜
				技能士 技能資格者						
	一工程の施 工の確認及 び報告	確認及び報 告を行う者	施工の確認及び監督員への報告	1.5.4	承 資格(監理技術者・主任技術 者等)を有する者であることを 確認し、証明資料を提出	<input type="checkbox"/> 専任届等				
		確認及び報 告の実施	実施時期 施工が設計図書に適合	1.2.4 1.5.4	所定の実施時期に施工を確認し、 適時監督員に報告	<input type="checkbox"/> 施工報告書 (<input type="checkbox"/> 計測記録)	状況写真	適 宜		
	施工の検査等	監督員の検査	設計図書に定められた場合 一工程の施工を報告した場合 監督員により指示された工程 に達した場合	1.5.4 1.5.5	(詳細は各節参照) 検 左記の場合に受ける。 検 合格した工程と同じ材料及び 工法により施工した部分は、以 後、原則として抽出			<input type="checkbox"/>	状況写真	適 宜
見本施工				実施の有無 仕上り程度等	1.5.5	承 見本施工を行い、仕上り程度 等を確認	<input type="checkbox"/> 施工報告書	状況写真	適 宜	

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
施 工	施工の検査 等に伴う試験		(詳細は各節参照)		(詳細は各節参照)		<input type="checkbox"/> 試験計画書		
			試験計画書 試験場所	1.4.4 1.5.6	試験方法について、設計図書を 確認。試験に先立ち試験計画書を 作成し、監督員に提出 承 (設計図書に定めがない場合の 試験方法) 承 試験場所を決定				
			試験の実施	1.2.4 1.4.4 1.5.6	立 原則とする。 承 試験結果を確認し、提出		<input type="checkbox"/> 試験成績書	状況写真	適 宜
	施工の立会 い等		設計図書に定められた場合 監督員の指示を受けた場合	1.5.7	立 左記の場合に受ける。 適切な時期に立会いを請求し、 立会い日時について指示を受ける。 立会いに必要な資機材及び労 務等を提供		<input type="checkbox"/> 立会い請求		
	工法の提案		所要の品質及び性能の確保が 可能な工法 環境の保全に有効な工法	1.5.8	左記の提案がある場合、監督員 と協議		<input type="checkbox"/> 工法提案資料 <input type="checkbox"/> 品質証明書 <input type="checkbox"/> 性能証明書		
工事検査 及び技術 検査	工事検査		完成時期 部分払請求時期 指定部分完成時期	1.6.1	設計図書の全ての工事の完了、 監督員の指示事項の完了、工事関 係図書、記録の整備完了を確認し、 監督員に通知 検査に必要な資機材及び労務等 を提供		<input type="checkbox"/> 既済部分確認請求書 <input type="checkbox"/> 完成届 <input type="checkbox"/> 完済届		
	技術検査		特記された場合 発注者が特に必要と認めた場合	1.6.2					
完成図等	完成時の提出 図書	完成図(施 工図及び施 工計画書を 除く分)	種類及び記入内容 様式等(作成方法、原図のサイ ズ)、CADデータの提出の有無	1.7.1 1.7.2	所定の要件を確認し、作成		<input type="checkbox"/> 完成図(原図及びその 陽画複写図(2部)) <input type="checkbox"/> CADデータ		
		施工図	種類 承諾の有無 原図であること		所定の要件を確認し、作成		<input type="checkbox"/> 施工図(原図)(原図 が提出できない場合は、 原図に代わる図)		
		施工計画書	種類 承諾の有無		所定の要件を確認し、作成		<input type="checkbox"/> 施工計画書		

1 一般共通事項

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
完成図等	完成時の提出図書	保全に関する資料	記載内容（右記提出書類） 提出部数	1.7.3	所定の要件を確認し，作成 提出時に，監督員に内容を説明		<input type="checkbox"/> 建築物の保守に関する 説明書 <input type="checkbox"/> 機器取扱い説明書 <input type="checkbox"/> 機器性能試験成績書 <input type="checkbox"/> 官公署届出書類 <input type="checkbox"/> 主要な材料・機器一覧表 <input type="checkbox"/> 予備品等引渡し通知書		
	完成写真		撮影箇所，枚数，原版の大きさ， 部数 撮影業者	—	所定の要件を確認 撮影業者を決定 撮影箇所の詳細について，監督員 から指示を受け，作成		<input type="checkbox"/> 完成写真		

2 仮設工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	着工前準備 工事	着工前敷地の 周辺状況	近隣の建物、工作物等の状況	1. 1. 12 1. 3. 6	記録の保存		<input type="checkbox"/> 近隣状況図	近隣施設 敷地状況	適 宜
			障害物		設計図と照合、設計図にないもの で工事の障害となるものは位置、 形状を計測の上、監督員に報告		<input type="checkbox"/> 計測図	障害の状況	適 宜
		敷地境界	境界石の位置、及び境界の確認		関係者立会いの上設計図と照合、 確認		<input type="checkbox"/> 計測図 <input type="checkbox"/> 立会い者名簿	境界の状況 立会い状況	適 宜
総合仮設計 画	工程表	工事工程と仮設の関連 仮設物の撤去時期	1. 2. 2	設計図書及び工事施工条件等と 比較、検討	承 仮設物で目的物の一部を使用 する場合は監督員の承諾を得る。	<input type="checkbox"/> 総合施工計画書			
		敷地の状況	建築物の位置、敷地の高低、ベ ンチマーク、地下埋設物、隣接建 物など	2. 2. 1 2. 2. 2		現況地盤の計測確認	<input type="checkbox"/> 計測図		
		材料運搬経 路及び作業 動線	交通量、交通規制、高さ、重量 制限 通路と設置位置 荷捌きスペース、駐車スペース	1. 2. 2 1. 3. 6					
		監督員事務 所	面積規模、仕上げ、備品類	2. 3. 1					
		仮設建物等	建物の位置、構造 請負者事務所、作業員休憩所、 材料置場、下小屋、危険物貯蔵庫、 表示板	2. 3. 1 2. 3. 2					
		仮設設備	排水経路及び流末 仮設電力及び水道引込位置と供 給能力	1. 2. 2					
		仮囲い、ゲ ート、足場、 作業通路 作業構台	位置、構造	2. 2. 4					
		揚重設備	クレーン、リフト、エレベータ ー等	1. 2. 2 1. 3. 6					

2 仮設工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
	総合仮設計画	安全環境対策	墜落防止, 感電防止, 落下物防止, 粉塵対策, 騒音・振動対策, 近隣住民及び通行者に対する安全処置, 工事中の電波障害対策		建設工事公衆災害対策防止対策要綱(建築工事編) 建設副産物適正処理推進要綱 建設リサイクル推進計画					
	縄張り, 遣方, 他	測定器具	基準巻尺(JIS B7512 1級)	2.2.3	承 表示マーク目視確認			表示マーク	適 宜	
		縄張り	建物の位置	2.2.1	検 敷地境界線から計測し, 設計図と照合 方位計で確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜	
		パンチマーク	建物の方位	設置状況	2.2.2	検 移動の恐れがないことを目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	確認状況	設置状況	計測状況
			高さ							
		遣方	水平基準高さ	基準墨	2.2.3	検 レベルにより2度測定し, 差を確認	水平面 ±2	<input type="checkbox"/> 仮設図 <input type="checkbox"/> 計測記録	設置状況	適 宜
	検 基準巻尺(JIS)により建物等位置を計測確認 にげ芯の養生の状態及び位置を計測確認		±2							
	指定仮設		位置, 構造, 数量		設計図書と照合し範囲, 強度の確認					

3 土工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
(仮設安全 計画等)	施工計画書 (品質計画)	工程表	準備期間 山留め設置・撤去の時期 根切り・埋戻しの時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書 (<input type="checkbox"/> 締固め機械の資料) <input type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画書 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理許可証 (写) <input type="checkbox"/> 産業廃棄物収集運搬業 許可証(写) <input type="checkbox"/> 構造計算書添付)		
		現場組織	施工業者名, 作業の管理組織, 品質管理組織						
		根切りの工 法	根切りの順序 掘削深さ 予定搬出土量 構内留置計画 掘削機械の種類と能力						
		埋戻し, 盛 土	土の種類 締固め方法及び余盛り高さ						
	一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4						
	品質管理	管理項目(根切の形状, 寸法, 床付面の平坦性, 埋戻し・盛土 材料, 法面勾配, 締固め状態, 締 固め方法等) 管理方法							
	建設発生土 の処理	処理先の種類, 運搬及び経路 再生利用を図れるものの処理 過積載防止方法 関係法令の確認							
	地中埋設物 及び障害物	事前調査及び資料に基づき確認							
	山留め	構造計算書等により工法の安全 を確保, 関係法令の確認, 管理方 法, 計測方法, 撤去方法, 周辺近 隣構造物の状況確認方法		設計図書及び工事施行条件と比較 ・検討 目視及び計器計測 (計測項目, 測点, 計測頻度)					

3 土工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
土工事	施工計画書 (仮設安全 計画等)	法面の養生	養生方法 滑動の恐れのある場合の観測方法	1.2.2						
		排水計画	排水処理方法, 排水先, 関係機 関との調整及び周辺状況の把握	3.2.2						
		安全環境対 策	安全衛生組織, 現場周辺仮囲い 運搬車両事故防止と汚染・飛散 防止, 振動対策, 騒音対策 非常時の対応, 山留めの変位等 の計測, 近接地域の対策(地下水, 地盤沈下等)	3.1.3 1.1.15						
施工図等	根切り	根切り範囲及び深さ・順序	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討 設計図書及び工事施行条件等と 比較・検討	<input type="checkbox"/> 施工図 <input type="checkbox"/> (参考図)					
	山留め	工法, 範囲及び深さ 支保工の種類 切梁の段数及び位置 構台等の仮設物								
材料	山留め材	矢板, 支保工, 切梁, 腹起し等 セメント, 芯材 (材質, 形状, 変形, 欠損, 割れ)	3.3.1	変形, 断面欠損及び割れ等のない ことを目視確認			外観	適 宜		
土工事	工法	根切り	根切り底の深さ及び状態	3.2.1	検 各種根切りごと ・総掘り: 縦横4mごとに 1箇所以上 ・布掘り: 約2~3mごとに 1箇所以上 ・つば掘り: 周囲4箇所と中央 1箇所計測	乱されていないこと 0~-30程度	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	種別ごと 2	
			支持地盤 (土質等)	検 地盤調査報告書と照合し, 目 視及び指触確認					土質状況	適 宜
			地中埋設物, 障害物	計測確認。重大な障害物は監督員 と協議					<input type="checkbox"/> 計測記録	現場状況

3 土工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
工法	埋戻し及び盛土	土質，締固め工法，転圧の厚さ 埋戻し土・盛土の適否	3.2.3	計測確認 ・各層300mmごとに締め固める。		<input type="checkbox"/> 計測記録	締固め状況	各層ごと 1	
						<input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書			
		余盛り高さ		計測確認		<input type="checkbox"/> 計測確認			
	建設発生土処理	処理先，数量，過積載防止	3.2.5	処理資料で処理先，数量確認		<input type="checkbox"/> 処理報告書（マニフェスト票（写）） <input type="checkbox"/> 再資源利用促進計画書 <input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験結果	処理状況	適 宜	
	排水	揚水ポンプ台数，釜場の位置，排水量，流末の処理	3.2.2	目視確認		<input type="checkbox"/> 排水処理報告書	排水状況	適 宜	
	山留め設置	周辺地盤及び架構材の安全確保 山留め精度	3.3.1	目視及び計測器で建入れ確認			施工状況	適 宜	
	山留め管理	周辺地盤及び架構材，排水・漏水等の安全管理	3.3.2	計測器で変形，応力等を計測 異常が生じた場合は，監督員に報告			全体の状況 又は計測状況		
山留めの撤去	撤去時期，矢板等の抜穴処置 周辺の状況（沈下等）の把握	3.3.3	目視確認 異常が生じた場合は，監督員に報告			処置状況 周辺状況			

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管理方法	管理目標値	提 出 資 料		
	項目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
既製コン クリート 杭地業, 鋼杭地業	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工機械の搬入、搬出、試験杭、 本杭の施工時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 評定書(写) <input type="checkbox"/> 規格表示許可書(写)		
		現場組織	施工業者名及び作業管理組織、 品質管理組織						
		材料	杭の製造業者名 杭の種類、規格、寸法、使用場所 鋼杭の防錆処置 杭の受入検査方法						
		工法	長尺物の搬入経路 施工機械の仕様、性能 杭の建入れの検査方法 杭の支持力の確認方法 プレバールンクの場合の深さ、径 特定埋込杭工法(使用材料、支持 力、施工条件、施工機械) セメントミルク工法の安定液・根固め液 の調合計画、管理方法 継手溶接機の種類及び溶接工の 資格、試験杭、監督員への施工報 告、地中埋設物の位置の確認						
		支持地盤の 確認	支持地盤の変化に対する処置						
		杭頭の処理	切断方法、鉄筋の処理方法						
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告、 実施時期						
	品質管理	管理項目(材料、平面位置、形状 寸法、支持力等) 管理方法							
	報告書等	施工記録、土質資料	4.2.5						

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
既製コン クリート 杭地業, 鋼杭地業	施工計画書 (仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 機械の転倒防止処置 杭穴への転落防止処置 騒音、振動等の防止対策 排土・排水・油滴・安定液等の廃 液の飛散防止及び処理	1. 1. 15	工事施工条件等を検討		(□産廃処理許可証(写))			
	施工図等	杭の配置図	試験杭の位置、本杭の打設順序 打設の深さ	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施工条件等 の比較・検討		□杭の配置図			
	材料	R C 杭	P H C 杭	規格(JIS A5372), 種別, 径, 長さ, 数量	4. 3. 2	表示マーク目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	表示マーク	種別ごと 1 及び 入荷日 ごと各1
				規格(JIS A5373), 又は建築基準 法に基づく杭種別, 径, 長さ, 数量						
				建築基準法に基づく杭種別, 径, 長さ, 数量						
		鋼管杭	H鋼杭	規格(JIS A5525), 種別, 径, 長さ, 数量, 先端補強	4. 4. 2					
				規格(JIS A5526), 種別, 径, 長さ, 数量						
		溶接材料	規格, 種類	4. 3. 2 4. 4. 2						
		セメント	使用数量	4. 3. 2						
	工法(共通)	杭心出し	位置の確認	4. 1. 3	杭配置図に基づき計測確認		□計測記録	確認状況	適 宜	
4. 3. 3										
継手		杭の軸線 溶接部の清掃 溶接工の資格	4. 3. 6	目視確認	軸線 2 以下 開先 4 以下	□杭施工報告書 (□確認記録)	確認状況	適 宜		
			資格を証明する資料により確認		□資格証明(写)等					

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
既製コン クリート 杭地業, 鋼杭地業	工法(共通)	杭頭	位置	4.3.7	全数計測確認	心ずれ 100 以下	□杭施工報告書 (□計測記録)	計測状況	適 宜
			杭頭処理後の高さ	4.3.8		±10			
			処理, 補強	4.4.5	目視確認	(□確認記録)	施工状況	適 宜	
		泥土, 廃液	運搬方法, 処理先	1.1.15	関係法令に従い, 適切に処理		□処理報告書 (マニフェスト票(写))	各状況	適 宜
		施工記録	継手, 打込み深さ, 高止まり量, 打撃回数, 貫入量, リバウンド量, セメント ミルク量, 施工時間, 水平方向のず れ, 打込杭の推定支持力, 掘削用 電動機の電流値, 杭頭処理等	4.3.8	全数確認, 計測を記録		□杭施工報告書		
工法 (打込み工 法)	プレボーリ ング	建入れ 掘削深さ, オーガー径	4.3.3	全数機器により確認	掘削深さ -50 傾斜 1/100	□杭施工報告書 (□計測記録)	確認状況	適 宜	
			4.3.8	駆動電動機の電流計により確認					
	試験杭	位置, 落下高, 貫入量, 打撃回 数, リバウンド量及び最終貫入量 の測定 支持力又は支持地盤の確認	4.2.2 4.3.3	落下高さ, 貫入量は杭長さ1/2迄 は1mごと, 以降0.5mごとに測定 支持地盤を確認し本杭の長さを 協議 本杭の管理基準値を設定	傾斜 1/100	(□支持力算定資料) □土質資料	計測状況	杭ごと1	
	本杭	位置, 建入れ, 落下高, 貫入量 最終貫入量の測定	4.1.3 4.3.3	全数計測確認	傾斜 1/100		計測状況	適 宜	
工法 (特定埋込 杭工法)	試験杭 本杭	建築基準法に基づく埋込杭工法 として認定を受けた条件 位置	4.2.2	認定条件に基づく施工であるこ とを確認	心ずれ100以下	□杭施工報告書 (□計測記録)	施工状況	適 宜	
			4.3.5						4.3.3

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料					
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真				
								内 容	枚 数			
既製コン クリート 杭地業, 鋼杭地業	工法 (セメントミ ルク工法)	根固め液 杭周固定液	強度	4.3.4		(N/mm ²) 根固め液 20以上 杭周固定液 0.5以上	□試験成績表	試験状況	適 宜			
			管理試験			試験の回数は、試験杭は1本ごと、本杭で継手のない場合は30本ごと又はその端数につき1回、継手のある場合は20本ごと又はその端数につき1回						
		試験掘削 試験杭		孔径、支持地盤の確認、掘削深さ、建込み中の鉛直度、高止まり量、センチメートル量、施工時間等の測定、管理基準値の設定	4.2.2	4.3.4	機器により確認及び測定	傾斜 1/100	□杭施工報告書 (□計測記録) (□電流計記録)	試験状況	適 宜	
					4.3.4							土質調査資料との照合 駆動用電動機の電流計で支持地盤を確認し本杭の長さを協議
												支持地盤の確認と掘削深さ
												杭の支持地盤への根入れ深さ及び打込みの状況 杭の保持
		本杭 (全数)		支持地盤の確認と掘削深さ 支持地盤への杭の根入れ 杭の養生	4.1.3	4.3.4	機器により確認 駆動用電動機の電流計で確認 目視確認 保持養生の状態目視確認	傾斜 1/100	□杭施工報告書 (□計測記録) (□電流計記録)	確認状況	適 宜	
場所打ち コンクリート杭地業	施工計画書 (品質計画)	工程表	1.2.2		承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討 工事施工業者資料の検討 計画調合書を検討		□施工計画書					
		現場組織								施工業者名 作業管理組織、品質管理組織 施工管理技術者(基礎施工士)		
		材料								鉄筋の種類と規格名 コンクリートの種別		

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
場所打ち コンクリ ート杭地 業	施工計画書 (品質計画)	工法	アースドリル・リハース・オールケーシング工法の概要	1. 2. 2	工事施行条件等を検討		<input type="checkbox"/> 拡底工法の評価書(写))		
			拡底杭及び場所打鋼管コンクリート杭工法の概要	4. 5. 4					
			施工機械の仕様、性能 コンクリートの計画調合表及び計算書	4. 5. 5					
			安定液及び泥水の管理 スライム処理工法 鉄筋の加工及び建込み工法 コンクリートの打設及び養生方法、品質管理						
			支持地盤の確認						
			一工程の施工の確認及び報告	1. 5. 4					
	(仮設安全 計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 機械の転倒防止処置 杭穴への転落防止処置 騒音、振動等の防止対策 安定液等の廃液、排土・排水・油滴等処理	1. 1. 15					
	品質管理	管理項目(材料、配筋状況、コンクリート、平面位置、寸法、支持力等) 管理方法							
	杭頭の処置	余盛り、鉄筋の定着長さ							
	報告書等	施工記録、土質資料	4. 2. 5						

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
場所打ち コンクリ ート杭地 業	施工図等	杭の配置図	試験掘削の位置, 本杭の打設順序	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施行条件等 の比較・検討		<input type="checkbox"/> 杭の配置図			
	材料その他	鉄筋	規格, 種別, 径, 数量	4. 5. 3	4. 5. 3(a)及び5節鉄筋工事による					
		コンクリート	種別		4. 5. 3(b)及び6節コンクリート工事による					
	工法(共通)	施工管理技 術者	資格		4. 5. 2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		安定液, 廃 液の処理	運搬方法, 処理先		4. 5. 4	処理先の確認		<input type="checkbox"/> 処理伝票	処理状況	適 宜
施工記録		配筋の状態, 先端土質の確認, 掘削中の孔壁養生, 安定液管理, 泥水管理, 掘削深さ・形状, スラ イム処理, 鉄筋高止まり状況, コ ンクリート投入量, フレッシュコ ンクリート試験, 施工時間, 水平 方向のずれ等		4. 5. 7	全数確認, 計測し記録		<input type="checkbox"/> 杭施工報告書	各状況	適 宜	
工法 (アースドリル工 法, リバース工 法, ホールケー ジ工法)	試験杭	位置の確認			配置図に基づき位置を計測確認			計測状況	適 宜	
		掘削深さ, 形状, 掘削排土の確認		4. 1. 3	検 掘削深さ, 径, 計測確認 土質調査資料及び設計図書と 照合し, 支持地盤の確認		<input type="checkbox"/> 杭施工報告書 (<input type="checkbox"/> 計測記録) (<input type="checkbox"/> 試験成績書) <input type="checkbox"/> 土質資料	支持地盤の 土質 計測状況	適 宜	
		泥水又は安定液の品質管理		4. 2. 2						
		孔壁の保持状況の確認		4. 5. 3						
		支持地盤の確認と根入れ深さ		4. 5. 4						
		スライム沈着状況と処理方法		4. 5. 7						
鉄筋の高止まり状況確認										
コンクリート打込み方法及び投 入量										
施工時間の測定										
管理基準値を設定										

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
場所打ち コンクリ ート杭地 業	工法 (アースドリル工 法, リバース工 法, ホールケー ジ工法)	本杭 (全数)	位置の確認	4.1.3 4.5.3 4.5.4	配置図に基づき位置を計測確認		□杭施工報告書 (□計測記録)	計測状況	適 宜	
			掘削深さ, 径 (全数)		計測確認					
			支持地盤の確認 (全数)		検 土質調査資料と照合し確認 支持地盤の状況に応じて検査			支持地盤の 土質		
		鉄筋かご, 補強リング 及び スペーサー	鉄筋径, 本数, 長さ, 間隔, 継 手の長さ, 鉄筋かご径, 溶接		種別ごとに1本計測確認, 他は目 視確認			□確認記録		計測状況
			スライム処理		スライム処理作業の確認					実施状況
			コンクリ ート打設		打設量, トレミー管, ケーシン グチューブの先端位置 強度			打設量の確認 杭ごとのスランプ試験 強度管理は6節による。		□打設量の確認記録 □計測記録 □試験成績書
	杭頭	位置	4.5.4 4.5.6	全数計測	±100 -30+100 ± 30	□杭施工報告書 (□計測記録)	計測状況			
		余盛り高さ								
		はつり後の高さ								
	安定液	粘性, 比重	4.5.4	品質の管理		□杭施工報告書 (□試験成績書)	計測状況			
工法 (場所打ち 鋼管コンク リート杭, 拡 底杭工法)	試験杭 本杭	建築基準法に基づく条件	4.5.5	建築基準法に基づく施工である ことを確認		□杭施工報告書 (□計測記録) (□確認記録)	施工状況	適 宜		
			4.5.4							

4 地業工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料				
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真			
								内 容	枚 数		
砂利地業 砂地業 割り石地業	材料	砂利	粒度	4.6.2	目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録				
		砂	有機物の有無								
		割り石	硬さ								
	工法 (締め固め)	砂利 砂 割り石	使用機器, 転圧回数, 1回ごとの 転圧厚さ 天端の高さ	4.6.3	締め固め状況を目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適 宜		
			4.6.4	各基礎ごとに計測 ・総掘り : 4 m程度に1箇所 ・布掘り : 2 m程度に1箇所 ・つぼ掘り : 中央1箇所以上	0~-15	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜			
捨コンクリート地業	材料	コンクリート	6節14項による。	4.6.2 4.6.5 4.6.7	出荷伝票と照合		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 <input type="checkbox"/> 強度試験成績書				
	工法		天端の高さ, 厚さ							計測確認	0~-10
床下防湿層	材料		規格, 厚さ	4.6.2 4.6.6	目視確認		<input type="checkbox"/> 材料検査記録				
	工法	重ね合せ, のみ込み	250mm以上		目視確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜		
		位置				目視確認			施工状況	適 宜	
試験	杭の載荷試験	施工計画書	工程, 概要 (試験装置, 反力装置, 加圧装置, 計測装置), 試験方法	4.2.1	立 試験は監督員の立会いを受ける。		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 報告書	試験状況	適 宜		
		試験杭	杭の状況, 強度確認, 位置	4.2.3				立 試験は監督員の立会いを受ける。	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 報告書	試験状況	適 宜
		試 験	最大荷重								
	地盤の載荷試験 (平板載荷試験)	施工計画書	工程, 概要 (載荷板, 試験装置), 試験方法	4.2.4			立 試験は監督員の立会いを受ける。	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 報告書	<input type="checkbox"/> 施工計画書	試験状況	適 宜
		試験地盤, 位置	養生, 排水								
		試 験	最大荷重								

5 鉄筋工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
鉄筋	施工計画書 (品質計画)	工程表	材料の検査時期 関連設備工事との調整 施工場所ごとの配筋・検査時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□施工計画書 (□資格証明書(写)) (□規格表示許可書(写)) (□梁貫通補強評価書(写))			
		現場組織	施工業者名 作業の管理組織, 品質管理組織 技能士 (加工及び組立)						
		材料	鉄筋の種別・種類, 製造所名及 び使用区分, 保管場所及び貯蔵方 法(加工場及び現場), 鉄筋の試験 (試験所, 回数)						
		工法	鉄筋の加工場所, 概要, 管理, 加工設備(切断・曲げ) 継手位置, 継手長さ及び余長 異形鉄筋のフック箇所 開口部, 貫通孔等の補強要領及 び特殊補強の要領 鉄筋位置の修正方法と組立後の 乱れ防止 関連工事との取合い 鉄筋のかぶり厚さ及びスペーサ ーの材質, 形状, サイズ, 使用部 位						
		一工程の施 工の確認 及び報告	施工確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 配筋の形状・寸 法・位置, 継手・定着の状態等) 管理方法						
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 作業動線計画 墜落, 転倒, 突き刺さり, つま づき等の防止措置	1.1.15	工事施行条件等を検討				

5 鉄筋工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料								
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真							
								内 容	枚 数						
鉄筋	施工図等	鉄筋加工図	各部位別の鉄筋の種別、径、長さ、間隔、本数 継手位置、定着長さ、フックの形状、余長、曲げ半径	1.2.3	承 設計図書と照合		□鉄筋加工図、 各部詳細図、配筋図								
		各部詳細図	開口部、貫通孔の補強 かぶり厚さ 柱はり交差部	1.2.3	承 設計図書と照合 設備工事、関連工事との調整										
		配筋図	各部のかぶり厚さ、鉄筋間隔												
	材料	鉄筋	種別、径 規格（JIS G3112, G3117） 品質証明	5.2.1 試験場所、試験方法試験の回数は、種類、製造ロット及び径の異なるごとに、質量20t以下は1回、20tを超える場合は20tごと及びその端数につき1回とし、機械的性質の試験体は1回につき3体とする。 原則として監督員の立会いを受ける。	5.2.3	JIS規格品、規格証明書等及び荷札の照合、表示マークの目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	ラベル、 マーク	種別径 ごと1					
											材料試験を実施する場合 試験方法、試験場所、試験回数の検討		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□試験成績書)	試験状況	適 宜
											溶接をする場合の試験	5.2.3	試験場所 試験体は種類、製造ロット及び径の異なるごとに実際と同じ条件で3体製作する。 原則として監督員の立会いを受ける。	共 母材破断	□材料検査記録 (□試験成績書)
	溶接金網	径、網目 規格（JIS G3551）	5.2.2	設計図書、規格証明書と照合		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	ラベル	適 宜							
	スペーサー	材質、形状、高さ	5.3.3	目視確認		□見本品、カタログ									

5 鉄筋工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
鉄筋	工法	技能士	資格(鉄筋組立)	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		組立	種別, 径, 長さ, 本数, 間隔, 余長, 曲げ半径	5.3.1 ~ 5.3.7	検 部位別, 種類ごと1箇所以上計 測他は全数を施工図等と照合 形状については, 施工時又は 材料搬入時に計測及び確認 スペースの位置, 個数確認 スラブ 上端: 1.2個/m ² 程度 下端: 1.2個/m ² 程度 壁 高さ方向2段, 横1.5m以内ごと 1箇所 はり 側面, 底面とも2mごとに1 箇所 柱 高さ方向2段, 1辺当たり2箇所	最小かぶり厚さ 0~+10	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況 検査状況	各部位 ごと 適宜
			継手, 定着, フック						
			かぶり厚さ						
		補強		検 全数施工図等と照合					
		結束線	5.3.3	結束状況を目視確認				結束状況	適宜
		鉄筋の保護, 養生	5.3.6	あゆみ板の設置状況確認				設置状況	適宜

5 鉄筋工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料					
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真				
								内 容	枚 数			
ガス圧接	施工計画書 (品質計画)	工程表	圧接の時期 検査の時期	1. 2. 2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		□施工計画書					
		現場組織	施工業者名 作業管理組織, 品質管理組織, 圧接工の技量, 人数, 資格									
		工法	ガス圧接器具の種類, 圧接端面 の処理, 作業方法, 天候による処理									
		外観試験	判定基準, 記録方法									
		超音波探傷 試験	試験箇所数, 試験方法, 試験従 事者, 探傷器, 判定基準							5. 4. 10	技量資格証明, 経歴書と照合	□技量資格証明書(写)) □経歴書)
		引張試験	本数, 採取方法, 作業班毎の施 工範囲 試験所 鉄筋切断後の方法									
		不合格部の 修正	修正方法							1. 1. 15	工事施行条件等を検討	
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	ガスボンベの取扱 落下火花等に対する養生 換気の確保, 防護眼鏡									
工法	圧接工	技量	5. 4. 2	技量を証明する資料により確認		□技量証明書(写)等						
	圧接端面及 び圧接部	グラインダーがけ はな曲り及び条こうの有無	5. 4. 6	圧接端面の処理状況を全数目視 確認		□確認記録	圧接端面の 状況	検 査 ロ ットごと 1				
		すきま		5%計測, 他は全数目視確認	共 3以下	□外観試験記録 (□計測記録)	圧接後の状 況					

5 鉄筋工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料					
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真				
								内 容	枚 数			
ガス圧接	工法	外観試験	ふくらみの形状，寸法	5.4.3 5.4.9	検 ふくらみの寸法及び軸心のく い違いを5%以上計測，他は全 数目視確認	共 ふくらみの長さ は，母材径の1.1 倍以上，ふくらみ の直径は母材径の 1.4倍以上 共 圧接面のずれ母 材径の1/4以下 共 母材径の1/5以 下	<input type="checkbox"/> 外観試験記録 (<input type="checkbox"/> 計測記録)	計測状況	適 宜			
			圧接面のずれ									
			軸心のくい違い，曲り，ひび割れ									
		超音波探傷 試験	試験従事者		技量証明書により確認							
			探傷器の点検 探傷試験	5.4.9	立 始業時及び作業中に点検確認 立 一部の探傷試験					<input type="checkbox"/> 試験成績書	点検状況 試験状況	適 宜
		引張試験	抜き取り箇所の記録	5.4.9	テープ等で目印をする。					<input type="checkbox"/> 抜き取り位置の記録	抜き取り形 状	適 宜
			引張試験							<input type="checkbox"/> 試験成績書	試験状況， 試験後の供 試体	適 宜
		試験片抜取 り後の処置	処置状況	5.4.9	全数目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	処置状況	適 宜			
		不合格とな った圧接部 の修正	外観試験の不良	5.4.10	修正箇所状況を全数確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	処置状況	適 宜			
			不合格ロット		承 原因調査と改善措置の検討				全 数			

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料				
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真			
								内 容	枚 数		
コンクリート	施工計画書 (品質計画)	工程表	計画調査書の提出時期、試験練り、型枠組立、コンクリート打ち、養生期間及び支柱取り外し時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		□施工計画書				
		製造所	場所、名称、運搬時間 製造設備及び能力、品質管理体制、施工管理技術者（コンクリート（主任）技師）規格品の製造及び搬出の実績	6.4.1						承 製造所資料を検討	(□規格表示許可書(写)) (□製造実績表) (□資格証明書(写)等)
		現場組織	施工業者名、技能士（左官：床コンクリート直均し仕上げ） 作業の管理組織（打設責任者名、ポンプ施工業者名） 品質管理組織								(□資格証明書(写)等)
		材料	セメントの種類 骨材の種類、採取場所 骨材の品質（アルカリシリカ反応抑制対策） 細骨材の最大寸法、水 混和剤の種類、使用方法及び使用量 塩分含有率	6.3.2							(□骨材試験成績書) (□アルカリ骨材反応試験成績書)
				6.3.3							(□セメント試験成績書) (□水質試験成績書) (□混和剤カタログ)
計画調査書	コンクリートの種類 コンクリートの強度 温度補正值（予想平均気温） 計画調査計算書 気乾単位容積質量 計画スランブ 単位水量 単位セメント量 細骨材率 水セメント比 高性能A E減水剤の使用	6.1.3 6.4.4	承 計画調査書を検討	(□計画調査書)							
			スランブ：地下部＝12cm 地上部＝18cm 単位水量の最大値＝185kg/m ³ 単位セメント量の最小値＝270kg/m ³ (12cmの時260kg/m ³) 水セメント比の最大値＝65% 空気量の目標値＝4.5% 塩化量の含有量の最大値＝ 0.3kg/m ³ アルカリ総量の最大値＝3kg/m ³ 細骨材の塩分含有量の最大値＝ 0.04/wt								

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
コンクリート	施工計画書 (品質計画)	計画調合書	計画空気量 塩化物の含有量 アルカリ総量 試練り	1.2.2 6.4.4					
		工法	運搬方法, 時間, 経路 打設方法 打設量 打設区画 打設順序 作業動線 人員配置 打止め方法・打止め位置 ポンプ車の圧送能力 生コン車の配車及び待機方法 輸送が中断した時の処置方法 異常を生じたコンクリートの 処置方法 打継ぎ面の処置 タンピングの方法 打込み後の欠陥の処置方法						
		養生	打込み後の養生 補修方法						
		品質管理	管理項目(材料, 出来形の形状, 寸法, 表面の仕上り状態, 平たん さ, 強度等) 管理方法, 測定方法 許容差を超えた場合の処置方法	6.2.5					

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
コンクリート	施工計画書 (品質計画)	品質管理		6.2.5	承 共 仕上がりの平たんさを定める。 平たんさの標準値 ・コンクリートが見え掛りとなる 場合又は仕上厚さが極めて薄い 場合、その他良好な表面状態が 必要な場合 (3mにつき7mm以下) ・仕上厚さが7mm未満の場合、そ の他かなり良好な平たんさが必 要な場合 (3mにつき10mm以下) ・仕上厚さが7mm以上の場合又は 下地の影響をあまり受けない仕 上げの場合 (1mにつき10mm以下)		(□試験機関資料)		
		試験	試験方法, 回数 試験機関の確認 供試体の採取場所・養生方法						
		仮設計画	ポンプ車の配置, 支持方法 生コン車の搬出・搬入路 現場養生場所及び養生方法						
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 災害防止対策 周辺環境の保全(騒音, 震動, 大気汚染, 水質汚濁, 道路の汚れ, 過積載等)	1.1.15	工事施行条件等を検討				
	試し練り		計画スランプ, 計画空気量, 所 要気乾単位容積質量, 調合強度	6.4.4	計画調合が得られるまで行う。		<input type="checkbox"/> 試し練り報告書 <input type="checkbox"/> 試験成績書	確認状況	適 宜
	材料	レディミクスト コン クリート	コンクリート種別 運搬時間, 経路 数量	6.6.2	出荷伝票と照合		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書		

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
コンクリート	材料	レディミクスト コンクリート	スランプ	6.10.3	(試験回数) 強度試験試料の採取ごと	共 8 cm未満±1.5cm 8 cm以上18cm以下 ±2.5cm 18cmをこえる ±1.5cm	□材料検査記録 □製造者品質管理試験 報告書	検査状況	適 宜
			空気量	6.10.3		共 ±1.5%未満		検査状況	適 宜
			塩化物量	6.10.3	(試験方法) 財団法人国土開発技術研究セン ターの技術評価を受けた塩化物量 測定器により、試験値は同一試料に おける3回の測定の平均値 (試験回数) コンクリートの種類が異なるご とに1日1回以上、かつ150m ³ ご とびその端数につき1回以上。た だし、最初の測定は、打込み当初	共 0.30kg/m ³ 以下		検査状況	適 宜
			単位容積質量	6.10.3 6.11.1 6.11.4	(試験方法) JIS A 1116 (試験回数) ・普通コンクリート 必要が生じた場合。 ・軽量コンクリート コンクリートの種類が、異なる ごとに午前と午後1回以上、かつ 100m ³ ごと及びその端数につき 1回以上	共 基準値と測定値 との差 ±3.5%		検査状況	適 宜
			温度	6.10.3	(試験回数) コンクリート打設時の気温25℃ 以上となる場合、又は寒中コンク リート、マスコンクリート				

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
コンクリート	材料	レディミクスト コンクリート	コンクリート強度	6.5.5	・普通コンクリート コンクリートの種類が異なるごとに1 日1回以上かつコンクリート150m3ごと 及びその端数につき1回以上。 ・軽量コンクリート コンクリートの種類が異なるごとに午 前午後1回以上、かつ100m3ごと又 はその端数につき1回以上。 ・高い強度のコンクリート 打込み区画・打込み日毎、かつ 100m3ごと又はその端数につき1 回以上	共 (調合) $\chi n \geq 1.05 F_7$ (構造体) $\chi \geq F_c + \Delta F$	<input type="checkbox"/> 試験成績書	検査状況	適 宜
				6.10.4					
				6.10.5					
				6.10.6					
				6.15.5					
	工法	技能士	資格 (コンクリート圧送)	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
				6.6.1	目視確認		<input type="checkbox"/> 打設計画書	点検状況 締固め状況 (要員数の わかるもの)	適 宜
				6.6.2					
6.6.6									
打込み後の 確認等	主要構造部に影響ある欠陥 その他の欠陥	6.6.7	検 全数目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録				
		6.2.5	各部位ごとに計測して確認	品質計画の数値に による。	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	適 宜		
6.2.5	部材断面の仕上がり寸法								
養生	養生温度 初期養生 表面乾燥の防止 外力からの保護	6.7.1	温度の計測確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	養生状況 計測状況	適 宜		
		6.17.6							
		コンクリートの仕上り平たんさ							

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
型枠	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工図作成時期 型枠組立時期・取外し時期 コンクリート打設時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		□施工計画書 (□資格証明書(写)) (□床型枠用鋼製デッキプレ ート評価書(写)) (□カタログ添付) (□見本添付)		
		現場組織	施工業者名 作業の管理組織, 品質管理組織 技能士 (型枠)						
		材料	型枠材料の種類, 支保工の種類 型枠緊張材の種類 はく離剤使用の有無, 種類 インサート材質 打込み断熱材の有無 スリーブ	6.9.3					
		工法	建入れ精度の確認方法 型枠取り外し条件 型枠の種類, 使用部位 基準部分の型枠組立図 型枠の転用計画	6.9.4					
				6.9.5					
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
	品質管理	管理項目(材料, 型枠精度等), 管理方法	1.5.4						
(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 型枠強度の安全検討 墜落, 転倒, 防止対策	1.1.15	コンクリート工事の仕上げに合 った数値を定める 工事施行条件を検討	(□型枠強度計算書)				
施工図等	コンクリート躯体区 インサート割付け 図	開口部, 貫通部及び補強の位置 埋込み金物の位置 コーンの使用箇所 床仕上げに見合った躯体高さ 打込み断熱材の有無, 増打ち, 外部及び水廻りの打継ぎ, 止水板 の位置, 打止めの位置, 柱・梁・ 壁床の寸法, 打設レベル, 目地寸 法, 形状	1.2.3	承 設計図書と照合 設備工事, 関連工事との調整	□躯体図, 割付図				
材料	型枠	せき板の種類	6.9.3	表示マークの確認		表示マーク	適 宜		
		床型枠用鋼製デッキ		表示マークの確認。厚さ計測確認					
		緊張材の種類		製造所仕様と照合					
	はく離材の種類								
	スリーブ	スリーブ寸法及び材種		施工図・施工計画書と照合					
工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		□資格証明書(写)等			

6 コンクリート工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
型枠	工法	組立	主要墨	6.9.3 ～	型枠打込み,各通り間の距離計測 確認 組立途中でセパレーターの長さを部材ごと,寸法の異なるごとに3箇所計測確認 柱組完了時 柱全数X, Y方向より計測 計測は頂部,底部を計測確認 外廻り,各スパンの中央を計測確認 柱組立時,建物コーナー部計測 勾配に水上,水下の高さ計測	品質計画の数値による。 <input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜	
			部材断面	6.9.4					
			建入れ						
			通り						
			階高						
			勾配(型枠で勾配をとる場合)						
			コーンの使用箇所						
		柱脚,柱頭の固定及び振れ止め 床型枠用鋼製デッキプレートの固定 支保工の配置及び固定		施工図と照合 目視,計測確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適宜		
		開口部 貫通孔 埋込み金物 取付け	位置,数量,間隔,変形に対する処置	6.9.3 ～ 6.9.4	貫通孔施工図により全数計測確認	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜	
		ルーフ・レンの 取付け	数,大きさ,位置,増打ちコンクリート		施工図により全数目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	確認状況	適宜	
型枠の取外し	最小存置期間	6.9.5	工程表と照合,確認 承 コンクリート圧縮強度試験	共 表 6.9.2 表 6.9.3 <input type="checkbox"/> 構造体のコンクリート強度試験成績書 <input type="checkbox"/> 安全確認検討書					
型枠締め付け金物の頭 処理	頭除去 さび止め塗装 コーンの穴埋め	6.9.6	目視確認		施工状況	適宜			
報告	監督員に報告	6.9.4	コンクリート打込みに先立ち組立状況を確認して報告する。		検査状況	適宜			

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	着工前準備	鉄骨製作工場	加工能力, 工場設備, 契約電力 試験機器, 各技術者, 実績等	7.1.3	承 設計図書と照合・検討 資格を証明する資料により確認	<input type="checkbox"/> 工場選定資料 (<input type="checkbox"/> 品質管理記録) <input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等			
		施工管理技術者	資格	7.1.3 7.1.4					
	工場製作 施工計画書 (品質計画)	工程表	工作図の作成時期 材料検査時期, 原寸検査時期 加工, 組立時期 超音波探傷試験時期, 塗装時期 製品検査時期, 搬出時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書(工場製作) <input type="checkbox"/> 鉄骨製作管理技術者認定書(写) <input type="checkbox"/> 溶接施工管理技術者認定書(写) <input type="checkbox"/> 溶接技量資格証明書(写) <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験技量資格証明書(写) <input type="checkbox"/> スタッド溶接技量証明 <input type="checkbox"/> 社内検査基準 <input type="checkbox"/> 規格表示許可書(写)		
		現場組織	製作工場名 作業管理組織, 品質管理組織						
		製作工場	作業管理組織, 品質管理組織 加工能力, 加工工場の機械設備 施工管理技術者 溶接工の資格 非破壊検査技術者の資格 品質管理						
		材料	鋼材の種類, 数量, 寸法 ボルトの種類, 数量, 寸法 溶接材料 製造所名, 使用区分 保管場所と保管方法 品質確認の方法						
		工作	製作精度, 切断, 加工 ボルト接合 溶接接合, 溶接部の確認 溶接部の試験, 不合格部の補修 スタッド溶接, 試験・補修塗装						
品質管理	管理項目(材料, 製品の形状, 寸法, 構造耐力・耐久性・耐火性の欠陥, 溶接接合部の状態等) 管理方法								

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	現場作業 施工計画書 (品質計画)	一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.2.2 1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 建方位置, 建 入れ, ボルト接合部の状態, 溶接 接合部の状態, 耐火被覆の性能取 合い部被覆状態等) 管理方法						
		超音波探傷 試験	工場製作計画書による。						
		(設安全 計画等)	仮設計画 建方用重機配置 搬入路, ストックヤード						
	安全環境対 策	安全衛生組織 重機転倒防止, 作業区域 落下防止 搬入時間, 経路	1.1.15	工事施行条件等を検討					
工作図	平面図 軸組図	柱, 梁等の符号, 基準線 継手位置, スパン, 階高 ベースプレートの位置	1.2.3 7.3.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較検討	共 「建築鉄骨設計基 準」(国土交通省大 臣官房官庁営繕部 による。	<input type="checkbox"/> 工作図			
	詳細図	柱, 梁の取り合い, ベース回り の納まり, 材質, 寸法 溶接の種類, 位置 高力ボルト及び普通ボルトの 径ゲージ, ピッチ, ヘリあき等 鉄筋の貫通孔径, 位置 仮設用部材の取付け等							
材料	鋼材		7.2.10	材料試験を実施する場合 試験方法, 試験場所, 試験回数 の検討 試験回数は, 製造ロット及び断 面の異なるごとに質量20t以下は 1回, 20tを超える場合は20tごと 及びその端数につき1回とし, 機 械的性質の試験体は1回につき3 体とする。		<input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 試験成績書)	試験状況	適 宜	

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	材料	鋼材	材質, 規格, 種類 断面形状, 寸法 品質証明	7.2.1	規格証明書, 表示マークの目視 確認, 厚さは計測確認		<input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 原品証明書) (<input type="checkbox"/> 原本相当規格品証明 書)	表示マーク	規格ごと に適宜
		高力ボルト	規格, 種類, 径, 長さ, トルク係 数値確認, 張力確認	7.2.2	表示マーク 目視確認 呼び径ごとと代表ロットの5セッ ト確認試験		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 試験成績書)	試験状況	適 宜
		溶接材料	種類, 規格	7.2.5	表示マーク 目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)		
	工作	工作図 (原寸図)	各部材の取合い及び寸法	7.3.2	主要部分の長さ, 幅, 厚さを計 測し, 図面と照合及び作業性の確認 検 原寸図は必要に応じ作成	共 「建築鉄骨設 計基準」国土交通 省大臣官房官庁営 繕部	<input type="checkbox"/> 工作図 <input type="checkbox"/> 原寸図	計測状況	適 宜
		仮設用部材 の取付け等	取付け方法, 形状	7.3.9	承 工作図等と照合			取付状況	適 宜
		巻尺	規格(JIS B7512, 1級) 基準巻尺との誤差の確認	7.3.11	所定の引張状態とし, 目盛全体 を目視により1.5以上のズレがな いことを確認した後, 10mごとに 目盛のズレを計測する		30m巻 ±1.5	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況
	製品	製作精度	材質, 主要寸法, (長さ, 幅, 厚さ等)ボルト穴, スリーブ, 鉄 筋貫通穴の位置, 寸法	7.3.3	施工計画書により10%について 計測確認	共 「鉄骨精度検査基 準」(日本建築学 会)による。	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 社内検査成績書) (<input type="checkbox"/> 超音波探傷試験成績 書)	確認状況	適 宜
			溶接状況, 摩擦面の状況, 開先 の形状等		目視確認				
	高力ボルト 接合	摩擦面の性 能及び処理	まくれ, ひずみ, へこみ及び錆 の状態	7.4.2	加工ロットごとに摩擦面の30% 以上, 一様に赤く見える程度の錆 があること及びまくれ, ひずみが ないことを目視確認			摩擦面の状 況	適 宜

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
高力ボルト 接合	ボルトセットの 取扱い	保管の状態	7.4.4	施工直前に包装が破損又は異状がないかを目視確認			保管状況	適 宜	
		締付け	7.4.7	一次締めが終わったものにマジック等で全数マークをつける			マーキングの状態	適 宜	
		締付けの確認	トルシア形高力ボルトとも回り及び軸回りの有無 ナット回転量, ボルト余長	7.4.8	検 全数本締め完了目視確認	共 平均回転角度 ±30° 以内 ボルト余長 ねじ山1～6山	<input type="checkbox"/> 確認記録	締付け状態	適 宜
			JIS形高力ボルトとも回りの有無 ナット回転量, ボルト余長		検 全数本締め完了目視確認	共 平均トルク値の±10%以内(トルクコントロール法) ナット回転数が既定値±30° 以内(ナット回転法) ボルト余長 ねじ山1～6山	<input type="checkbox"/> 確認記録	確認状況 締付け状況	適 宜
	締付け及び確認用機器	7.4.9	毎日1回作業開始前に調整	共 所要トルクの±7%	<input type="checkbox"/> 調整記録	調整状況	適 宜		
普通ボルト 接合	接合	ボルト孔の径 座金の厚さ, 戻り止め	7.5.2	目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適 宜	
溶接接合	施工管理技術者	資格	7.6.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等			
		技能資格者	7.6.3	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等			
	材料準備	7.6.4	計測器具により開先の10%計測他全数目視確認	共 「鉄骨精度検査基準」(日本建築学会)による。	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 確認記録	計測状況	適 宜		

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	溶接接合	部材の組立	ルート間隔	7.6.5			ルート間隔 の状況	柱、梁 の溶接 線の20%	
			組立て溶接の位置, 最小ビード長			組立て溶接 の状況	適 宜		
	溶接施工	溶接順序, 溶接姿勢, 予熱 エンドタブ	7.6.7	予熱温度の確認			予熱状況	適 宜	
	気温等による 処置	作業場所の温度 降雨雪, 強風	7.6.8	作業場所の温度測定 気温が-5℃から5℃の場合の 処理 (-5℃以下施工不可)		<input type="checkbox"/> 測定記録	予熱状況	適 宜	
	溶接部の確認	溶接着手前 (ルート間隔, 開先 角度等) 溶接作業中 (溶接棒, 入熱, パ ス間温度) 溶接完了後 (ビード表面, アン ダーカット等)	7.6.10	計測及び目視確認	「鉄骨精度検査規 準」(日本建築学 会)による。	<input type="checkbox"/> 確認記録	計測状況 施工状況	適 宜	
	溶接部の試験	超音波探傷試験技能資格者	7.6.11	技量を証明する資料により確認			<input type="checkbox"/> 技量証明書(写)等		
				工場溶接の場合	抜取確認 (2回)	共「鋼構造建築溶 接部の超音波探傷 検査規準」(日本建 築学会)による	<input type="checkbox"/> 超音波探傷試験成績書	試験状況	適 宜
				工事現場溶接の場合	全数確認				
	不合格溶接 の補修		7.6.12	補修箇所全数確認			<input type="checkbox"/> 確認記録	試験状況	適 宜
	スタッド溶接	スタッド溶接 作業におけ る技能資格 者	資格	7.7.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等	施工状況	適 宜
施工		専用電源の確保 溶接条件の設定 磁気吹きの影響	7.7.4	午前と午後作業開始前 2本以上の試験溶接			施工状況	適 宜	

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
	スタッド溶接	溶接後の試験	外観試験(アンダーカット)	7.7.3	全数目視確認	共 0.5以内	□確認記録 □計測記録	試験状況	適 宜	
			外観試験(仕上り高さ, 傾き)	7.7.5	計測確認	共 スタッドの種類及び溶接される部材が異なるごとにかつ, 100本ごと及びその端数について1ロットとし, 1ロット1本以上抜き取る。				共 仕上り高さ ±2mm 傾き 5° 以内
			打撃曲げ試験		目視確認	共 割れなし				
		不合格スタッド溶接の補修		7.7.6	承 補修箇所全数確認		□確認記録	試験状況	適 宜	
	錆止塗料	工場塗装の範囲	未塗装の範囲	7.8.2	目視確認		□確認記録	施工状況	適 宜	
	耐火被覆	ラス張り モルタル塗り	調合及び塗り厚	7.9.4	塗り厚計測確認		□計測記録	施工状況	適 宜	
			耐火材吹付け	建築基準法に基づく認定等を受けた材料, 工法 浮き錆等の除去, 吹付け厚さ 飛散防止	7.9.5	指定又は認定工法に基づく施工か確認 スラブ及び壁: 2㎡/1箇所以上 柱 : 1面/各1箇所以上 梁 : 6㎡/3箇所以上	0 ~ +0.5mm	□計測記録	確認状況	適 宜
			耐火板張り	建築基準法に基づく認定を受けた材料 浮き錆等の除去	7.9.6	製造所仕様の確認		□確認記録	施工状況	適 宜
			耐火表示	表示方法, 表示箇所	7.9.8	目視確認		□確認記録	表示マーク	適 宜
	工事現場施工(建方等)	アンカーボルト等の設置	固定方法(構造用, 建方用) ナットの位置, 高さ	7.10.3	全数目視確認 全数計測確認	2重ナット ねじ山3山以上	□計測記録	保持及び埋込み確認状況	適 宜	
柱底均しモルタル			工法及び厚さ		全数計測		□計測記録	計測状況	適 宜	

7 鉄骨工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	現場施工 (建方等)	建方	組立て順序 仮ボルト 建入れ直し 建入れ精度	7.10.5	検 全数計測確認	共 「鉄骨精度検査基 準」(日本建築学 会)による	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜
	溶融亜鉛め っき工法	施工管理技 術者等	資格	7.12.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		亜鉛めっき	めっき付着量の確認 溶接部の割れ, 仕上り状態 JIS表示認定工場	7.12.3 14.2.3	付着量試験 全数目視確認		<input type="checkbox"/> 付着量試験成績書	確認状況	適 宜
		溶融亜鉛め っき高力ボ ルト接合	摩擦面の処理 ブラスト処理の範囲	7.12.4	目視確認	すべり係数値0.4 以上 表面粗度50ミク ロン以上	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適 宜
		締付け確認	マーキングのずれ	7.12.6	検 とも回り及び軸回りの有無を 全数目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	確認状況	適 宜

8 コンクリートブロック，ALCパネル，押出成形セメント板工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料						
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真					
								内 容	枚 数				
補強コン クリート ブロック 造 コンクリ ートブロ ック帳壁 及び塀	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工図の作成，着手・完了の時期，養生の期間	1. 2. 2	承 設計図書及び工事施行条件等の比較・検討		□施工計画書						
		現場組織	施工業者名，作業の管理組織，品質管理組織，技能士（ブロック建築）										
		材料	使用材料名（セメント・骨材・鉄筋共），規格，製造所名，保管方法										
		工法	モルタルの調合，コンクリートの調合，ブロック割り方法，ブロックの積み方（1日の積み上げ高さ），配筋方法，あと施工アンカー，まぐさの仕様，設備配管の方法							承 既製まぐさの使用			
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告実施時期	1. 5. 4									
		品質管理	管理項目（材料，位置，仕上り状態，目地，取合部充填状態等）管理方法										
		養生	振動，衝撃，荷重，直射日光，寒気，雨水に対する処理，出隅・突出部・踏付け面の処理										
	(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 足場の安全性，墜落防止，落下防止	1. 1. 15	工事施行条件等を検討								
施工図等	ブロック割付図	ブロック割付，配筋	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施行条件等，施工計画書の比較・検討		□割付図，各部詳細図							
	各部詳細図	ブロックと壁の取合い，交差部・端部の取合い，まぐさ，がりょう，建具取合い，設備用配管，ボックス等取合い											

8 コンクリートブロック，ALCパネル，押出成形セメント板工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
補強コン クリート ブロック 造 コンクリ ートブロ ック帳壁 及び塀	材料	コンクリ ートブロ ック	規格，種類，厚さ	8.2.2 8.3.2	表示マークの目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク	種別ごと 適宜	
		骨材，セメ ント	保管方法，規格，種類	8.2.2 8.3.2	規格証明書等の確認 試験成績書の確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 試験成績書)	材料	材料， 種類ごと 適宜	
		鉄筋	規格，種類，径							
	工法	技能士	資格		1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		縦遣方，	位置，精度，構造，固定状況		8.2.6	縦遣方全数計測	±2	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況， 隠ぺい部	適宜た だし隠 ぺい部 は全数
		鉄筋の加工 及び組立	鉄筋の配筋（径，間隔），継手， 定着，かぶり，端部補強等		8.2.5 8.3.3 別図 8.1～2 9.1～5	目視確認				
モルタル及 びコンクリ ートの充填		かぶり厚さ，目地幅，まぐさ受 け補強，充填（2段以下）		8.2.8 8.3.5						
ブロック積 み等	精度，1日の積み上げ高さ		8.2.7 8.3.4	壁面の両端，上下端及び測点が4 mを越える場合は4mごとに測定	±1/500					
ALCパ ネル 押出成形 セメント 板	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工図の作成，着手・完了の時期	1.2.2	設計図書及び工事施行条件等の 比較検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 (<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)) (<input type="checkbox"/> 溶接技能資格証明書(写))			
現場組織		施工業者名，作業管理組織，品 質管理組織，技能士（ALCパネ ル施工）								
材料		使用材料名（モルタル，シーリ ング材，目地材，鉄筋共），規格， 製造所名，搬入・保管方法，取付 金物								
工法		パネルの取付方法，モルタルの 調合，目地などの充填，パネルの 開口，パネルの割り方法								

8 コンクリートブロック，ALCパネル，押出成形セメント板工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
ALCパ ネル 押出成形 セメント 板	施工計画書 (品質計画)	一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認の方法，監督員への 報告 実施時期	1.5.4	承 建築基準法に規定された風圧 力に対応した工法確認				
		品質管理	管理項目(材料，位置，仕上り状 態，目地，取合部充填状態等) 管理方法						
		パネル取付	外壁パネルの取付け工法	8.4.4 8.5.4					
		養生	振動，衝撃，荷重，寒冷期の対策						
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 足場の安全性，墜落防止，落下 防止	1.1.15	工事施行条件等を検討				
施工図等	パネル割付 図	パネル割付，寸法		1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等， 施工計画書の比較検討		□割付図，各部詳細図		
	各部詳細図	取付け，開口，補強，躯体との 取合い，建具枠等との取合い，設 備用配管，ボックス等取合い，切 り欠き部の補強							
材料	ALCパネ ル 押出成形セ メント板	規格，種類，単位荷重，厚さ， 長さ等及び床パネルの耐火性能		8.4.2 8.5.2	規格証明書等の確認 試験成績書の確認 有効期限（シーリング）の目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	材料	
		表面形状，原料，寸法，品質							
		取付金物	規格，表面処理，接合材料						
		骨材，セメ ント	保管方法，規格，種類						
		鉄筋	規格，種類，径						
		シーリング	規格，種類，有効期限						
							材料， 種別ごと 適宜		

8 コンクリートブロック，ALCパネル，押出成形セメント板工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
ALCパ ネル 押出成形 セメント 板	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書（写）等		
		パネルの取 り扱い	積上げ高さ，保管養生	8.4.3 8.4.4 8.4.5	目視確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	保管状況	
		パネルの建 込み	取付金物，接着剤，モルタル・ ロックウールの充填，目地用鉄筋， 開口補強材，錆止め，溶接部の処 置，自重受，あと施工アンカー， 防火区画	8.4.6 8.5.3 8.5.4 8.5.5	各壁面パネル3箇所以上につい て上下2段計測 目違いの目視確認，必要に応じ計測	±1 / 750 ±2	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況 隠蔽部	適宜， ただし隠 蔽部は 全数
		モルタル充 填	充填状況		目視確認		確認記録	施工状況	適宜
		シーリング 材充填	9節による						

9 防水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通 (シーリングを除く)	施工計画書 (品質計画)	工程表	防水の種類別着工・完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 資格証明書(写) <input type="checkbox"/> 規格表示許可書(写) <input type="checkbox"/> 伸縮目地評価書(写)		
		現場組織	施工業者名, 作業管理組織, 品質管理組織, 技能士 (アスファルト防水, 合成高分子ルーフィング防水, 塗膜防水)						
		材料	施工箇所と種類, 規格, 使用材料名, 製造所名, 保管方法						
		工法	材料置場, アスファルト溶融釜の設置場所及び構造 下地処理 (コンクリート打継ぎ部, PC屋根板, ALC屋根パネル継ぎ目), 施工方法, 溶融温度, 入り隅, 出隅, 立上り, 出入口回り, エクспанション部納まり, ドレン回り, 防水押さえ, 目地割り, 目地構造, 監督員の検査						
		一工程の施工の確認及び報告	施工確認及び監督員への報告, 実施時期	1.5.4					
	品質管理	管理項目(材料, 防水層の形状寸法, 仕上り状態, 防水性能等) 管理方法							
	養生	換気, 損傷							
(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 火気対策, 高熱対策 墜落防止, 落下防止	1.1.15	工事施行条件等を検討					
施工図等	平面図	勾配, ドレン位置, 伸縮目地割付	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工図			
	各部詳細図	立上り, 出入口回り, 入隅, 出隅, 設備配管, ドレン回り, エクспанション部取合い							

9 防水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
アスファルト防水	材 料	プライマー アスファルト ルーフィング類	規格, 種類, 数量	9.2.2	品質証明書及び製造所仕様と照合 表示マーク目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 品質証明書)	表示マーク 材料使用状 況	種類ごと 1	
		断熱材, 溶接金網	規格, 種類, 数量							
	工 法	技能士	資格		1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		防水下地	勾配, 突起の除去		9.2.4	目視確認			下地の状況	適宜
			乾燥状態			高周波水分計により5箇所以上 計測	含水率8%以下	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	
			入隅, 出隅面取り, 通り, 立上り, 出入口回り, 設備配管, ドレン 回り, エクспанション部取合い			目視確認			入隅, 出隅 部各部清掃 状況	
		プライマー 塗り	むら, 塗布面の乾燥			24時間放置	<input type="checkbox"/> 使用量報告書	施工状況		
		アスファルトの 溶融	溶融温度			60分ごと温度計測	<input type="checkbox"/> 計測記録			
		ルーフィング ^{張り} 一般部	方向, 重ねしろ			目視確認(各層ごと)	<input type="checkbox"/> 使用量報告書	各層施工状 況 特殊部 端部	適宜	
		ルーフィング ^{張り} 端部及び 特殊部	端部, 入隅, 出隅, 立上り, 出 入口回り, 設備配管, ドレン回り, エ クспанション部の増張り及び捨張り							
	検査	監督員の検査		9.1.3	検 防水層の施工は, 随時検査を 受ける。			検査状況		
	保護層など	絶縁用シート	張付け, 重ね		9.2.5	目視確認			施工状況	適宜
		伸縮調整目 地	割付け			目視確認, 施工図と照合				
			目地高 下部の絶縁状態			5箇所以上計測 目視確認	-5	<input type="checkbox"/> 計測記録		
押えコンク リート		勾配, 仕上げ, 溶接金網				目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録			
	立上り押え	とんぼ間隔, 平ラスの取付け								

9 防水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料							
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真						
								内 容	枚 数					
改質アス ファルト シート防 水	材 料	ルーフィングシート	規格, 種類, 厚さ, 数量	9.3.2	品質証明書及び製造所仕様と照合 表示マーク目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク	種類ごと					
	工 法	技能士		資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等						
		防水下地		入隅, 出隅, 立上り, ドレン回 り取合い 勾配, 突起部の除去 乾燥状態	9.3.4	目視確認			下地の状況	適宜				
											高周波水分計により5箇所以上 計測	含水率8%以下	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況
											目視確認		<input type="checkbox"/> 使用量報告書	施工状況
		プライマー 塗り		むら, 乾燥状態			目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況				
		ルーフィングシート張 付		着剤の乾燥状態, 固定金具の留 付け, 密着の程度, 接合部の処置, 特殊部分の増張り, 捨張り			目視確認							
検査		監督員の検査	9.1.3	検 防水層の施工は, 随時検査を 受ける			検査状況	適 宜						
合成高分子 系ルー フィング シート防 水	材 料	ルーフィングシート	規格, 種類, 厚さ, 数量	9.4.2	品質証明書及び製造所仕様と照合 表示マーク目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク	種類ごと					
	工 法	技能士		資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等						
		防水下地		入隅, 出隅, 立上り, ドレン回 り取合 勾配, 突起部の除去 乾燥状態	9.4.4	目視確認			下地の状況	適宜				
											高周波水分計により5箇所以上 計測	含水率8%以下	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況
											目視確認		<input type="checkbox"/> 使用量報告書	施工状況
プライマー 塗り		むら, 乾燥状態												

9 防水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
合成高分子系ルーフィングシート防水	工 法	ルーフィングシート張付	接着剤の乾燥状態，固定金具の留付け，密着の程度，接合部の処置，特殊部分の増張り，捨張り	9.4.4	目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	
		検査	監督員の検査	9.1.3	検 防水層の施工は，随時検査を受ける。			検査状況	適 宜
塗膜防水	材 料	塗膜防水材	規格，種類，数量	9.5.2	品質証明書及び製造所仕様と照合表示マーク目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク	種類ごと
		工 法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等	
		防水下地	合成高分子系ルーフィングシート防水に同じ	9.5.4	合成高分子系ルーフィングシート防水に同じ		<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	工程ごと
		防水層	プライマー塗りむら 特殊部分の処置		目視確認		<input type="checkbox"/> 使用量報告書 <input type="checkbox"/> 確認記録		
	検査	監督員の検査		9.1.3	検 防水層の施工は，随時検査を受ける。			検査状況	適 宜

9 防水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
シーリング	施工計画書 (品質管理)	工程表	施工箇所別着工・完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□施工計画書 (□資格証明書(写)等 (□製造所仕様) (□色見本) (□規格表示許可書(写))			
		現場組織	施工業者名, 作業の管理組織 品質管理組織, 技能士 (シーリング防水)						
		材料	施工箇所, 使用材料名 (シーリング用材料, プライマー, ハックアップ材他), 規格, 製造所名, 貯蔵方法, 接着性						
		工法	施工箇所の形状, 施工方法 施工時気温, 被着体温度 施工後の確認, 異種材料の使用						
		一工程の施工の確認及び報告	施工確認及び監督員への報告, 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 形状, 寸法, 仕上り状態, 止水性能等) 管理方法						
		養生	塵あい付着, 汚染, 損傷等に対する処理						
	(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 高所作業, 足場の安全性, 墜落防止, 落下防止	1.1.15	工事施行条件等を検討				
	材 料	シーリング材	規格, 種類, 色, 有効期間	9.6.2	表示マーク目視確認, 製造所様, 規格証明書, 色見本と照合	□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	表示マーク	適宜	
		補助材料	種類, 材質, 寸法		製造所仕様と照合				
工 法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認	□資格証明書(写)等				
	目地形状	幅 (広狭), 深さ, 通り	9.6.3	目視確認		施工状況	適宜		
	下地処理	油, 塵あい, 錆等除去・清掃 下地乾燥	9.6.4	目視確認					

9 防水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
シーリング	工 法	気象状況	気温, 湿度, 天候	9.6.4	必要に応じ温・湿度計測		<input type="checkbox"/> 計測記録		
		接着性試験	簡易接着性試験 引張接着性試験	9.6.5	外部に使用する場合		<input type="checkbox"/> 試験成績書	試験状況	適 宜
		バックアップ材 ボンドブレイカー	深さ	9.6.4	部位ごと5箇所計測		<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	工程ごと 適宜
		プライマー	プライマー塗残し						
		シーリング材 充填	密着, 仕上げ, 打継ぎ箇所				<input type="checkbox"/> サンプリング資料		
		施工後の確認	充填状況 硬化, 接着状態		目視, 指触確認		<input type="checkbox"/> 確認記録		

10 石工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料													
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真												
								内 容	枚 数											
	施工計画書 (品質計画)	工程表	材料決定時期, 加工時期, 製品 検査時期, 着手・完了の時期, 養生の期間	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 の比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書													
		現場組織	施工業者名, 作業の管理組織・ 品質管理組織, 技能士等 (花こう 岩類の石張り, 大理石張り, テラ ゾブロック張り)								<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)									
		材料	使用材料名 (骨材, セメント, 鉄筋共), 産地, 種類, 仕上げ, 使用箇所, 保管場所, 揚重, 運搬, 規格, 製造所名, 貯蔵方法, 取付 金物, 加工業者名											<input type="checkbox"/> 見本						
		工法	材料加工方法 (加工場の概要, 機械設備等共), 取付方法, 施工 順序, 取付金物, 取付工法, 目地 構造																	
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4						共 下地面の寸法精度標準値 (外壁) 湿式工法 ±15 乾式工法 ±10 (内壁) 乾式工法 ±10 空積工法 ±15 (床) ±10										
	品質管理	管理項目(材料, 仕上り面の形 状, 寸法, 状態, 下地面の寸法精 度) 管理方法																		
	養生	保管中, 外部の雨・雪に対する 処置, 取付後, 清掃																		
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織, 足場の安全性, 落下防止	1.1.15									工事施行条件等を検討							

10 石工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	施工図等	石割付図	石の割付, 形状, 寸法, 目地寸法	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等, 施工計画書の比較検討		<input type="checkbox"/> 割付図, 取付工作図 各部詳細図		
		取付工作図	取付金物(だぼ等共), 取付位置, 配筋, 吊りボルト						
		各部詳細図	入隅・出隅の取合い, 開口部廻り, 設備機器取合い, 金物等との取合い						
	材料	天然石, テラゾ	種類, 仕上げ, 形状, 寸法, 規格	10.2.1	見本品との照合 種類ごとに寸法計測 規格証明書の確認 試験成績書の確認	厚さ・長さ1m未満 ±0.5, 1m以上±1.0 JIS A5411(テラゾ) JIS A5003(石材)	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 計測記録) (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	材料	材料, 種別ごと 適宜
		取付金物	規格, 形状	10.2.2					
		骨材, セメント	貯蔵方法, 規格, 種類	10.2.3					
		鉄筋	規格, 種類, 径	10.2.2					
	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		下地ごしらえ	鉄筋, アンカー, 取付金物, 錆止め	10.3.3	壁面下地の両端, 上下端及び測点 が4mを越える場合は4mごと, 又 は全てのファスナーを測定 床下地の四周端部及び測点が4 mを越える場合は4mごとに測定	品質計画の数値に よる。	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況 隠蔽部	適宜た だし隠 ぺい部 は全数
				10.4.3					
10.5.3									
10.6.2									
取付	取付金物, 裏ごめモルタル, 目地, だぼ等の固定	10.7.3 10.7.4	壁面仕上の両端, 上下端及び測点 が4mを越える場合は4mごとに 測定	±1/750及び下地 の精度以上					

1.1 タイル工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
後張り	施工計画書 (品質計画)	工程表	材料決定時期, 着工・完了時期, 見本焼き時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	<input type="checkbox"/> 施工計画書			
		現場組織	施工業者名 作業管理組織, 品質管理組織 技能士 (タイル張り)						
		材料	使用箇所 (種類) 製造所名 使用材料名 (モルタル共) 混和剤, 接着剤 管理方法						
		工法	施工箇所別の仕上タイルの材 質・張付け工法 引き金物の取付け工法 目地の位置, 目地の工法 目地モルタル調合, 張付けモル タル塗付量 練混ぜ方法						
		施工後の確 認及び試験	タイル接着力試験 打診による確認 補修方法						
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 仕上り面の形状, 寸法, 状態, 接着性能等) 管理方法						
	(仮設安全 計画等)	養生 清掃	直射日光, 風, 雨, 振動, 衝撃 酸洗い, 水洗い	1.1.15	工事施行条件等を検討				
	安全環境対 策	安全衛生組織 足場の安全性, 墜落防止, 落下 防止, 室内換気							

1.1 タイル工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	施工図等	タイル割付け図	タイル割付け 目地寸法・位置	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		□割付け図, 各部詳細図		
		各部詳細図	入隅, 出隅, 開口部, 設備機器 回り取合い 役物使用部 勾配 (雨水掛かり部) 伸縮目地・ひびわれ誘発目地の 位置, 構造, 形状, 寸法						
	材料	陶磁器質タイル	規格・種類・色調・形状・寸法・ 裏足の高さ (JIS A5209) JIS規格品	11.2.1	表示マーク目視確認 種類 (タイプ) ごと 5 枚以上計測 見本品と照合		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□計測記録)	表示マーク	種類ごと (タイプ) 1
	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		□資格証明書(写)等		
		下地ごしらえ	下地モルタルの状態	11.3.3	接着の工法に応じた状態を確認		□確認記録	検査, 補修 状況	適 宜
			下地モルタル浮き ひび割れ検査補修		全数打診検査		□検査記録		
		伸縮目地 ひびわれ誘 発目地	目地割付け 目地構造	11.1.3	目視確認	共 表11.1.1		施工状況	
	張付け	精度	11.3.3	1 0 m ² に 5 箇所計測	± 2	□計測記録	施工状況	種類ごと	
	検査	打診検査	タイルの浮き, ひび割れ	11.1.4	タイル面全面打診検査		□検査記録	検査状況	適 宜
		接着力試験	引張接着強度		1 0 0 m ² 又はその端数につき 1 個 以上, かつ 3 個以上	共 0.4N/mm ² 以上	□試験記録	試験状況	
先付け	施工計画書 (品質計画)	工程表	材料決定時, 施工確認時期 着工・完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		□施工計画書 (□資格証明書(写)) □仕上タイル見本品		
		現場組織	施工業者, 作業管理組織, 品質 管理組織, 技能士 (型枠先付け)						
		材料	使用箇所 (種類), 製造所名 使用材料名 (モルタル共) 管理方法, 混和剤, 吸水率						

1.1 タイル工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料					
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真				
								内 容	枚 数			
先付け	施工計画書 (品質計画)	工法	先付け工法の種別 目地の位置 緊張部材取合い せき板種別 タイル取り付け順序, 方法 引き金物の取り付け方法 外型枠取り外し方法, 時期 型枠取り外し後のコンクリート 補修方法 タイル補修方法	1.2.2								
											施工後の確認及び試験	タイル打診検査 タイル接着力試験
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4								
		品質管理	管理項目(材料, 仕上り面の形状, 寸法, 状態, 接着性能等) 管理方法									
		養生・清掃	後張りに同じ									
	(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 足場の安全性, 墜落防止, 落下防止, 室内換気	1.1.15							工事施行条件等を検討	
	施工図等	タイル割付け図 各部詳細図	後張りに同じ	1.2.3							承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討	<input type="checkbox"/> 割付図, 各部詳細図
	材料		後張りに同じ									
	工法	技能士	資格	1.5.2							資格を証明する資料により確認	<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等
		タイルユニット	取り付け方法	11.4.3							目視確認	
伸縮目地 ひびわれ誘 発目地		目地割付け 目地の構造		目視確認 施工図と照合	<input type="checkbox"/> 照合記録							

1.1 タイル工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
先付け	工法	型枠	建入れ, 通り, 壁厚		各階組立完了時, 頂部, 底部, 柱 全数計測 外回り壁面, 各スパンごと1箇所 以上計測	建入れ 1/750 壁厚±3	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況 計測状況	工程ごと
			タイル裏面と鉄筋の間隔		目視確認			確認状況	適 宜
	検査	打診検査	後張りに同じ	11.1.4	後張りに同じ		<input type="checkbox"/> 検査記録	検査状況	適 宜
		接着力試験	後張りに同じ		後張りに同じ	共 0.6N/mm ² 以上		<input type="checkbox"/> 試験記録	

12 木工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
施工計画書 (品質計画)	現場組織	工程表	材料決定時期 着工・完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□施工計画書 (□資格証明書(写)等)			
		現場組織	加工業者名, 作業管理組織, 品質管理組織, 技能士(建築大工)						
		材料	使用材料名(釘, 金物共), 品質, 保管方法						
		工法	加工(仕上げ), 組立て, 取付工法, 防腐・防蟻・防虫処理, 使用薬剤, 使用量, 方法, 金物の防錆						
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告, 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 造作材の形状寸法, 位置, 仕上り面の状態, 構造材・下地材の固定方法, 固定状態等) 管理方法						
		養生	施工中, 施工後の養生方法						
施工図等	軸組図	伏図	天井下地, 小屋組, 床組	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□施工図			
		軸組図	間仕切軸組						
材料	各部詳細図	建具回り, 壁, 天井, 床取合い	設備機器取合い		表示マーク目視確認 含水率は水分計で現場搬入時に計測	□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書) (□計測記録) □見本品	表示マーク 計測状況	種類ごと 1	
		木材, 集成材等, 床張り用合板	規格(等級), 品質の基準, 樹種, 含水率 寸法, 形状, 防腐処理	12.2.1 12.2.2 12.2.3 12.2.8					
		釘等 諸金物	材質, 形状, 寸法, 防錆処理	12.2.4 12.2.5					
		接着剤 木れんが	種類, 規格	12.2.6 12.2.7					

12 木工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
工法	技能士	資格		1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
	表面仕上げ	仕上げの程度		12.1.4	目視確認, 施工図と照合		<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適 宜
	継手及び仕口	位置, 形状, 組立方法		12.1.5					
	釘等 諸金物 木れんが	位置, 間隔, 取付方法		12.2.4 12.2.7 12.2.5					
	防腐処理 防蟻処理 防虫処理	処理方法, 塗布量		12.2.8 12.2.9 12.2.10	目視確認			処理状況	
	接着剤	位置, 接着方法		12.2.6					

1.3 屋根及びとい工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
屋根	施工計画書 (品質計画)	工程表	材料、色の決定時期 着工及び完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 資格証明書(写) <input type="checkbox"/> 専門工事業者仕様 <input type="checkbox"/> 材質及び色見本 <input type="checkbox"/> 規格表示許可書(写)		
		現場組織	施工業者名 作業管理組織、品質管理組織、 技能士(長尺亜鉛、鉄板葺、波形 石綿スレート葺)						
		材料	製造所名 使用材料名(下葺付属材料共) 種類、規格、専門工事業者の仕様						
		工法	折り曲げ、はぎ合せ、留め付け 方法、屋根葺工法、専門工事業者 の仕様						
		一工程の施 工確認及び 報告	施工確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料、形状、寸法、仕 上り状態、防水性能、耐風圧性能 等) 管理方法						
	(仮設安全) 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織、高所作業、足場の 安全性、墜落防止	1.1.15	工事施行条件等を検討				
施工図等	割付図	割付け	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等		<input type="checkbox"/> 割付図、各部詳細図			
	各部詳細図	棟、軒先、けらば、壁との取合い							
材料	長尺金属板 折板 スレート波板 粘土瓦	材質、規格、寸法、厚さ、形状	13.2.2	表示マーク目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 <input type="checkbox"/> 規格証明書	表示マーク	種類ごと	
			13.3.2						
			13.4.2						
13.5.2									
留付け金物	材質、形状、寸法、防錆処理								
アスファルトルーフィ ング	種類、規格								

1.3 屋根及びとい工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
屋根	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		アスファルトルーフィングスレート	重ね合わせ	13.2.3 13.3.3 13.4.3 13.5.3	計測確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	適宜
		各部の納まり	折曲げ, はぎ合わせ, 留付け間隔						
とい	施工計画書 (品質計画)	工程表	着工及び完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 (<input type="checkbox"/> 規格表示許可書(写))		
		現場組織	施工業者名 作業管理組織, 品質管理組織						
		材料	使用材料名(ルーフトレン, とい受金物等) 製造所名, 規格						
		工法	とい継手, 防露, とい受け金物 取付け法, 掃除口, 勾配 ルーフトレン取付け工法						
		掃除	掃除及び通水試験						
		一工程の施工確認及び報告	施工確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 形状, 寸法, 仕上り状態, 防水性能, 耐風圧性能等) 管理方法						
	(仮設安全)計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 高所作業, 足場の安全性 墜落防止	1.1.15	工事施行条件等を検討				
材料	とい とい受金物 防露材	材種, 規格, 材質, 寸法, 径, 厚さ 仕上げ等	13.6.2	表示マーク目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク	種類ごと	

13 屋根及びとい工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
とい	工法	鋼管製といの工法	継手, 防火区画貫通部, 下がり止め	13.6.3	目視確認	□確認記録	施工状況	適宜	
		鋼管製といの防露巻き工法	施工箇所						
		とい受け金物の工法	とい受け金物の取付けの工法						
		硬質塩化ビニール管製の工法	継手, 下がり止め						
		硬質塩化ビニール雨といの取付け工法	メーカー仕様と照合						
		ルーフドレンの工法	取付け位置						

1.4 金属工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工図等作成，製品製作及び取付時期，他工種との調整	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 資格証明書(写) <input type="checkbox"/> 材料見本 <input type="checkbox"/> 規格表示許可書(写) <input type="checkbox"/> 溶接技量資格証明書(写) <input type="checkbox"/> ろう付け技量証明		
		現場組織	施工業者名，作業管理組織 品質管理組織，技能士（軽鉄天井・壁下地）						
		材料	使用箇所，使用材料名，規格，品質，製作所名						
		工法	製品取付方法(外部・内部) 金属接触腐食防止処理 表面処理 溶接，ろう付け方法 養生						
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告，実施時期	1.5.4					
	品質管理	管理項目(材料，製品の形状，寸法，位置，仕上りの状態等) 管理方法							
	(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 火気対策，足場の安全性	1.1.15	工事施行条件等を検討				
施工図等		製作図	取付金物，取付方法	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 製作図，割付図 各部詳細図		
		割付図	材質，形状，寸法，伸縮継手の間隔						
		各部詳細図	設備機器取合 補強方法						

1.4 金属工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料				
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真			
								内 容	枚 数		
軽量鉄骨 天井・壁 下地	材料	下地材（野 縁，野縁受 スタッド，ランナー） 吊ボルト， 補強用振止 め金物	規格，材質，形状，寸法，種類	14.4.2	表示マーク目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	表示マーク	種類ごと		
			数量	14.5.2							
	工法	技能士	資格	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		□資格証明書			
				取付	位置，間隔 天井（屋内・屋外），下地の高さ， 目地の種類	14.4.3	目視確認 主要各室ごと，かつ，天井高の異 なる部分ごとに陸隔より周辺部1 箇所以上計測	±5	□計測記録	位置，間隔 のわかるも の（周辺部 共） 施工状況	適 宜
						14.4.4					
開口部補強	開口部の種類（出入口，ダクト など），補強，溶接	14.5.3									
溶接部	防錆処理	14.5.4									
手すり及 びタラップ	材料	手すり，タ ラップ	規格，材質，形状，寸法	14.8.2	目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	材料	適 宜		
			表面処理	14.8.3							
	工法	取付方法	位置，溶接，加工，固定度	14.2.1	試験成績書で確認		□試験成績書	表面処理状 況			
				14.2.2							
			14.2.3			□計測記録	施工状況				
金属成形 板張り	材料	成形板	材質，規格，形状，寸法	14.6.2	目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)				
			表面処理	種別		試験成績書による確認		□試験成績書			
	工法	取付方法	割付，下地，伸縮調整継手位置	14.6.3	目視確認			施工状況 (特に見え がくれ部分)	適 宜		
アルミニ ウム製笠 木	材料	笠 木	種類，形状，寸法	14.7.2	目視確認		□材料搬入報告書 □材料検査記録				
			表面処理	種別		試験成績書により確認		□試験成績書			
	工法	取付方法	固定金具間隔，固定度，継手部	14.7.3	目視確認			取付確認	適宜		

1.5 左官工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	見本提出時期 施工箇所別の着工・完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> (資格証明書(写)) <input type="checkbox"/> (仕上塗材は見本帳又は 見本塗り板添付) <input type="checkbox"/> (防火材料認定書) <input type="checkbox"/> (保水剤の実績書) <input type="checkbox"/> (防水剤の実績書) <input type="checkbox"/> (規格表示許可書(写))			
		現場組織	施工業者 作業管理組織、品質管理組織、 技能士(モルタル塗り、石こう プaster塗り)							
		材料	使用箇所、使用材料名 規格、保管方法、建築基準法に 基づいた防火材料の指定又は認定							
		下地処理	下地処理の方法、放置期間、清掃							
		工法・施工	練混ぜ場所、練混ぜ方法、調合、 塗り工法(施工箇所別) モルタル仕上げの種類(施工箇 所別) 各工程の放置期間及びその確認 方法、ひび割れ防止方法 浮きの確認方法及び補修方法 作業中止							
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告、 実施時期							1.5.4
		品質管理	管理項目(材料、仕上り厚さ、仕 上り状態、接着状態、床の平たん さ等) 管理方法							
			養生							接近部材等の汚染防止 夏季の直射日光、通風、寒冷期 施工後の早期乾燥防止
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織、足場の安全性、 大気対策、換気	1.1.15	工事施行条件等を検討					
	材料	セメント 砂 水 混和材 保水剤 防水剤 顔料	規格 粒度 有機物等の有害含量 種類 種類 材質、色	15.2.2 15.4.2 15.5.2 15.6.2 15.7.2	表示マーク等、目視確認 使用期間の確認	(製造年月日： プaster-4ヶ月)	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 <input type="checkbox"/> (規格証明書) <input type="checkbox"/> (品質証明書) <input type="checkbox"/> (基材同等証明書)	表示マーク	材料ごと	

15 左官工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	材料	混和剤 セルフベリング材 仕上塗材 グーラスター セメント系下地調整塗材 ロックウール 接着剤	規格 種類, 品質 規格, 種類, 仕上げの形状等 規格, 製造年月日 規格 規格 種類						
モルタル 塗り 石こうプ ラスタ ー塗り	工法	技能士	資格		資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		調査	材料使用量	15.2.3	調査表と照合				
		下地処置	目荒し, 水洗い	15.2.4	目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	目荒し状況 水洗い状況	仕上種 類ごと1
		下塗り 中塗り	放置期間 塗厚 むら	15.2.5 15.6.5	塗った日付を表示し, 放置期間を 確認 目視確認			日付のわか るもの	
		上塗り	平たんさ, むら, 塗厚	15.2.5 15.6.5	塗り面の中央線(長軸)における 計測確認	塗面2mにつき2 mm以内	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	
床コンクリート 直均し仕 上げ	工法	技能士	資格		資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		仕上り	平たんさ, むら	15.3.2 15.3.3 6.2.5	計測確認 目視確認(むら)	平たんさ 幅木回り3mにつ き3mm以内 その他表6.2.4に よる。	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	適 宜
セルフレ ベリング 材塗り	工法	セルフレベ リング材	軟度, 塗厚, 打継部 養生期間, 下地状態	15.4.3 15.4.4 15.4.5		標準塗厚10mm			適 宜
仕上塗材 仕上げ	工法	仕上げ	模様, 色合, つや 工程ごとの所要量 塗り面の状態	15.5.4 15.5.5 15.5.6 15.5.7	見本帳, 見本塗板と比較 工程ごとの所要量	表15.5.4による	<input type="checkbox"/> 使用量報告書	照合状況 工程のわか るもの	適 宜
ロックウール 吹付け	工法	吹付け	配合, かさ比重, 厚さ, 密度 表示	15.7.4	ロックウール工業会指定の測定 器による計測確認	部位毎10ヵ所以上 0~+5mm	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	適 宜

16 建具工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工図作成時期, 製作時期 製品検査時期, 搬入時期 取付時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□施工計画書 (□資格証明書(写)) (□性能試験成績書) (□規格表示許可証(写)) (□評価書(写)) (□見本, カタログ)			
		現場組織	施工業者名, 作業管理組織, 品質管理組織, 技能士(サッシ施工, ガラス施工)						
		材料	性能(耐風圧, 気密, 水密, 耐震, 遮音, 断熱) 型式, 機構, 防火戸の種別 使用材料名(ガラス, シーリング, 金物等副資材共), 製作所名						
		工法	加工, 組立の順序・工法 表面処理方法, 塗装方法 製作所検査方法, 検査項目, 検査基準, 関係工事との取合い 運搬, 仮置方法, 防食・防錆の方法, 材料 枠取付工法, 精度, 取付検査方法, 検査基準						
		仮組	仮組方法, 確認項目, 確認方法	16.1.4					
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 建具の形状, 寸法, 仕上り状態, 各性能, 取付調整等) 管理方法						
	(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織, 火災防止, 製品の倒壊・落下防止	1.1.15	工事施行条件等を検討				
施工図等	共通仕様	各種性能, 主要材料の品質 仕上げ(防錆処理等) 鍵プラン(マスターキー)	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□建具位置図, 製作図				
	建具位置図 製作図	防火戸の種別, 位置, 開き勝手 形状・寸法, 数量, 施錠方法, 使用ガラス, ガラス溝形状・寸法, 付属金物類(種類・取付位置), 補強材, シーリング, 防錆処理, 取付方法, 操作方法, 戸当り位置関連工事及び各仕上げとの取合い							

16 建具工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料											
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真										
								内 容	枚 数									
建 具	材料	アルミニウム 押出形材	材質, 形状, 寸法, 規格	16.2	設計図書及び見本, 規格証明書と 確認		<input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	計測状況	適宜									
		アルミニウム板材 鋼板	接触腐食の防止処置	~5.3 6.2 7.2														
	製品	製品検査	ステンレス鋼板 形鋼	含水率, 樹種品質	9.2 10	承 主要な金物は, 見本品提出 施工図, 社内検査成績書と照合		<input type="checkbox"/> 金物類見本 <input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 社内検査成績書)	検査状況	適宜								
			木材 気密材 網戸 金物類		見本						~12.3							
		工法	技能士 加工及び組 立 取付	製品	機構・性能						16.2	種類ごと1点以上計測	JIS A4702・4706に よる。	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜		
				製品	製品の寸法許容差						~5.2 8.2 8.3 9.3 10 ~12.2							
				製品	表面処理・仕上げ方法(皮膜・ 塗膜厚)						16.2 ~5.4 6.3 8.3 10 ~12.4						計測確認又は規格証明書と照合	<input type="checkbox"/> 計測記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)
				工法	資格						1.5.2						資格を証明する資料により確認	<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等
				工法	位置, 開き勝手, アンカー						16.2~						目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録
	工法	技能士 加工及び組 立 取付	溶接箇所の外観, 防錆	6~	目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適宜										
			建入れ, 高さ, 対角差	9.4 10~ 12.5	全数計測	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜										
			くつずり, 下枠モルタル詰め	10~ 12.5	目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適宜										
			建具用金物	16.7.3														
調整			16.1.5	全数作動確認	<input type="checkbox"/> 作動確認記録													
鍵の管理			16.7.4	錠と照合し報告	<input type="checkbox"/> 引渡調書													
操作方法の表示	16.1.6																	

16 建具工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
ガラス	材料	各種ガラス	規格, 形状, 寸法, 種類, 厚さ	16.13.2	設計図書, 見本品, 規格証明書と照合	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 品質証明書) (<input type="checkbox"/> 評価書(写)) (<input type="checkbox"/> 計測記録)			
		シーリング材 ガasket	規格, 種類, 防火性能	16.13.3	目視確認, 見本品, 品質証明書と照合				
		セッティング ブロック	材質, 形状, 硬さ						
	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認	<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等			
		はめ込み	シーリング材, セッティングブロック, ガasket	掛りしろ, 切断面, 小口の防錆処理	16.13.4	目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適宜
1箇所をガラス厚毎及び建具寸法 ごと各掛りしろ計測	<input type="checkbox"/> 計測記録								
ガラス ブロック	材料	ガラスブロック	規格, 形状, 寸法, 種類, 厚さ	16.13.5	設計図書, 見本品, 規格証明書と照合	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 品質証明書) (<input type="checkbox"/> 評価書(写))			
		金属枠, 補強材, 力骨, 緩衝材 滑り材, 水抜きプレート, 化粧目地モルタル, シーリング材	規格, 種類						
	工法	施工計画書	風圧力に対応した工法の品質計画 (工法, 力骨の間隔等)	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	<input type="checkbox"/> 施工計画書 (<input type="checkbox"/> 耐風計算書)			
取付		目地幅, 伸縮目地の寸法・位置		目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	適宜		

1.7 カーテンウォール工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	施工図の作成時期 製作時期, 製品検査時期 工場搬出時期, 着工・完了時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> 資格証明書(写) <input type="checkbox"/> 構造計算書 <input type="checkbox"/> 試験成績書 <input type="checkbox"/> 性能証明書 <input type="checkbox"/> 品質証明書 <input type="checkbox"/> 調合計画書 <input type="checkbox"/> 構造計算書		
		製作所	製作所名, 作業管理組織 工場の設備, 品質管理 施工実績	1.5.2					
		現場組織	施工業者名, 作業管理組織, 品質管理組織, 技能士(金属製 カーテンウォール工事作業)						
		性能	耐風圧力, 耐震性, 水密性, 気 密性, 耐火性, 耐温度差性, 遮音 性, 断熱性, ファスナー部の性能等 性能確認方法	承 構造計算書, 試験成績書等 により検討					
		材 料	使用箇所 金属材料, ガラス, 骨材, セメ ントの種別, コンクリートの調 合, 鉄筋, 型枠, 仕上げ材, 断熱 材, シーリング材, 取付け用金物	承 配筋は構造計算書で検討					
		製作	形式, 機構, 加工・組立の順序, 工法, 表面処理の方法, 配筋方法, 型枠組立, コンクリート打込み方 法, 養生, 脱型, 取付け用金物の 取付け方法, 取合い部の処理, 目 地幅, 社内検査基準, 製品管理の 方法, 製品検査の方法						
		取付け	取付け用金物・主要部材取付け 工法, 取付け精度 取合い部の耐火処理, 映像調整						
		養生	蒸気養生期間, 温度						
	一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4						

17 カーテンウォール工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
共通	施工計画書 (品質計画) (仮設安全 計画等)	品質管理	管理項目(材料, 形状, 寸法, 仕上り状態, 要求性能, 取合い部 の処理方法等) 管理方法	1.2.2	工事施行条件等を検討		<input type="checkbox"/> 施工計画書			
		安全環境対 策	安全管理組織 高所作業安全対策, 落下防止 墜落防止	1.1.15						
メタルカーテン ウォール	施工図等	製作図	配置, 形状, 寸法, 数量, 目地	1.2.3	承 設計図及び工事施行条件等と 比較・検討		<input type="checkbox"/> 製作図 <input type="checkbox"/> 取付け施工図			
		取付け施工 図	取付け用金物, 取付け方法							
	材 料	金属材料	規格, 材質, 形状, 寸法, 板厚, 色	17.2.2	設計図書, 見本, 規格証明書によ り確認 種類ごと1個以上計測確認 計測確認 試験成績書と照合 製作所仕様と照合		<input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 計測記録)	計測状況	適 宜	
		表面処理	表面処理方法(被膜厚さ, 塗膜 厚さ)							
		摩擦低減材 料	種類, 材質, 寸法							
		取付け用金 物	材質, 寸法, 表面処理 取付けの固定度・精度							
	製 品	検査, 品質 管理	性能, 機構, 寸法, 形状, 各部 板厚, 異種金属の接触部・溶接部 の処理	17.2.3 17.2.4	施工図, 製作所検査成績書, 試験 成績書と照合	性能値以上 共 表17.2.1	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 製作所検査成績書) (<input type="checkbox"/> 試験成績書) (<input type="checkbox"/> 性能証明書)	取付け状況	適 宜	
			取付け	躯体付け金 物						取付け精度, 材質
	取付け	主要部材	取付け精度, 目地, 本止め, 溶 接後の錆止め, 耐火被覆, 防火区 画等の処理	17.2.5	取付け精度は全数計測確認 本止め及び区画等の処理は, 全数 目視確認	共 表17.2.3	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 確認記録			
			技能士							資格
PCカーテンウォ ール	施工図等	割付図	配置, 数量, 目地	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討		<input type="checkbox"/> 割付図 <input type="checkbox"/> 製作図(計算書) <input type="checkbox"/> 型枠製作図			
		製作図 (配筋図等)	仕上げ材割付け, 継手, 定着, 寸法, 配筋 設備取合い							
		型枠製作図	寸法, 厚さ, 材質							

17 カーテンウォール工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
PC カーテンウォール	施工図等	取付け施工 図	取付け用金物、連結用金物、取 付け方法	1. 2. 3			<input type="checkbox"/> 取付け施工図			
	材 料	レイアウト シート	下記以外は6節による 比重	17. 3. 2	6節による			試験状況 打込み状況	適 宜	
		鉄 筋	5節による		5節による			ラベルマーク	適 宜	
	P C 製品		寸法、精度、ねじれ、反り、曲 がり、表面仕上げ	17. 3. 3	設計図面及び型枠製作図により 全数計測確認	共 表17. 3. 1	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 製作所検査成績書) (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 計測記録)	計測状況	適 宜	
		摩擦低減材 料	種類、材質、寸法		製作所仕様と照合					
		取付け用金 物	材質、寸法、表面処理 取付けの固定度・精度							取付け状況
	製作	型 枠	寸法、精度、材質、ねじれ、反 り、曲がり、脱型時強度	17. 3. 4	設計図面及び型枠製作図により 全数計測確認	辺長 ± 1 mm	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜	
		鉄筋組立	配筋状況、継手、定着、かぶり 厚さ、吊上げ用金物・取付け用金 物回りの補強		設計図面及び製作図（配筋図等） により全数計測確認					
	取付け	躯体付け金 物	取付け精度、材質	17. 3. 5	計測確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況 取付け状況	適 宜	
		主要部材	取付け精度、目地、本止め、溶 接後の錆止め 防火・防煙処理区画の位置		取付け精度は全数計測確認 本止め及び区画等の処理は、全数 目視確認	共 表17. 3. 2	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 確認記録			

18 塗装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	色見本の提出, 施工箇所ごとの 施工時期	1・2・2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	<input type="checkbox"/> 施工計画書 <input type="checkbox"/> (資格証明書(写)) <input type="checkbox"/> (見本帳又は, 見本塗 板添付) <input type="checkbox"/> (防火材料指定又は認定書) <input type="checkbox"/> (規格表示許可書(写))			
		現場組織	施工業者名, 作業管理組織, 品 質管理組織, 技能士(塗装)						
		材料	施工箇所, 塗料の種別, 規格, 製造所名(塗装副資材共), 防火材 料の指定又は認定, 搬入方法 保管方法						
		工法	施工範囲, 粘度調整, 工場塗り 範囲 素地ごしらの方法 はけ, 吹付け, ローラーの区分 中塗り, 上塗りの色分け 低温, 高湿の場合の対策 工程間隔時間・最終養生時間	1.5.4					
		一工程の施 工確認及び 報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期 塗装面の確認						
		品質管理	管理項目(材料, 仕上り状態, 塗 膜の耐久性能, 耐火性能等) 管理方法	1.1.15					
	(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 火気対策, 換気対策, 外部への 異臭	1.1.15	工事施行条件等を検討				
材料	パテ, プライマー 下地調整材 塗 料	規格, 種別, 数量, 調合	18・1・3	見本と照合及表示マーク目視確認	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 <input type="checkbox"/> (規格証明書) <input type="checkbox"/> (品質証明書) <input type="checkbox"/> 調合表	表示マーク	材料 種別ごと 1		

18 塗装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		素地 ごしらえ	汚れ, 付着物, 油類, 亀裂, パテ飼い パテしごき, 研磨紙ずり 錆落とし	18・1・4 2・2 ～ 2・7	目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	工程ごと 1
		錆止め 塗料塗り	塗り回数, 各工程ごとの塗布量 工場塗装の膜厚	18・3・2 3・3	各工程ごとの使用量を確認 工場塗装の膜厚を確認		<input type="checkbox"/> 使用量報告書 <input type="checkbox"/> 膜厚測定報告書 (錆止め塗料塗り工場塗装)		塗り回 数ごと1
		各種 塗料塗り	塗り回数, 各工程ごとの塗布量 表面仕上り, 色, 模様, むら	18・4・2 ～18・1 18・4・2 ～18・2	各工程ごとの使用量を確認 最終工程で見本品と照合 目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録		

19 内装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	見本提出, 施工箇所ごとの施工時期	1.2.2	承 設計図書及び施工条件と比 較・検討	□施工計画書 (□資格証明書(写)) (□見本品又は、見本塗板 添付) (□規格表示許可書(写)) (□評価書(写)) (□品質証明書)			
		現場組織	施工業者名, 作業管理組織, 品 質管理組織, 技能士(プラスチック系床, カーペット系床, 天井ボード, 壁装作業)	1.5.2					
		材料	施工箇所, 使用材料名, 製造所 名, 規格, 種類, 寸法, 材質, 色 調, 配合						
		工法・施工	下地処理, 表面仕上げ, 接着剤 の種類, 割付, 継ぎ目, 見切り部 分の収まり						
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 仕上り面の状態, 床の平滑度, 固定度, 断熱性能等) 管理方法						
	養生	夏季・寒冷期対策 直射日光・通風 清掃							
(仮設安全 計画等)	安全環境対 策	安全衛生組織 火気対策, 換気対策	1.1.15	工事施行条件等を検討					
施工図等	割付図	割付, 模様合わせ	1.2.3	承 設計図書及び施工条件と比較 検討	□割付図, 詳細図				
	詳細図	隅部, 柱回り, 設備器具取合い 他の仕上材との取合い 点検口の納まり, 防火・防煙区 画の処理							

19 内装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
ビニル床 シート・ ビニル床 タイル・ ゴム床タイル 張り	材料	ビニル床材 特殊機能床 材 ゴム床材	規格、種別、厚さ、色 帯電防止性能	19.2.2	見本品及び製造所仕様と照合 表示マーク等目視確認 試験成績書の確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 試験成績書)	表示マーク等	適 宜	
		接着剤	規格、種別							
	施工	技能士		資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		下地		乾燥，指触乾燥 清掃，平滑	19.2.3	下地の施工日を表示し，放置期間 (モルタル面：14日以上，コンクリート面：28日 以上)を確認			施工日の表 示，施工直 前の状況	適 宜
		仮敷き ビニル床シート		放置期間		放置期間の確認			仮敷き状況	適 宜
		張付け		張付け時の室温	19.2.4 19.2.3	室温測定 目視確認 見本品と照合	室温6℃以上	<input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	適 宜
		熱溶接工法	仕上り状況（ふくれ，はがれ）							
カーペット 敷き	材料	織りじゅう たん タフテッドカー ペット ニートルパンチ カーペット タイルカーペット 取付用付属 品等	種別，風合い，色合い 防炎性能表示 帯電性 原糸，製織 寸法，厚さ，下敷き材	19.3.3	見本品と照合 表示マーク等目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 品質証明書)	表示マーク等	適 宜	
		工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		敷き込み		毛並の方向，継ぎ目の位置 はぎ合わせ，仕上り状況（ゆる み，隙間）	19.3.4	目視確認			施工状況	適 宜
合成樹脂 塗床	材料	弾性ウレタン塗 床材 エポキシ樹脂 塗床材	規格，種別，数量，色，品質	19.4.2	見本品及び製造所仕様と照合 試験成績書の確認	共 表19.4.1 表19.4.2	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書) (<input type="checkbox"/> 試験成績書)			
	工法	塗付け	仕上り状況（むら，だれ） 各工程毎の使用量 施工場所の気温，湿度，換気	19.4.3 19.4.4	目視確認，見本品と照合 気温，湿度測定	気温6℃以上 湿度80%未満	<input type="checkbox"/> 使用量報告書 <input type="checkbox"/> 計測記録	施工状況	適 宜	

19 内装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
フローリング 張り	材料	フローリングボード フローリングブロック モザイクカーペット 天然木化粧 複合フローリング	規格、種別、樹種、寸法 使用箇所、使用材料名 ホルムアルデヒド放散量	19.5.2	見本品と照合 表示マーク等を目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク等	種類ごと
	工法	モルタル埋込み 工法 釘留め工法 接着工法	防水処理 隠し釘、接着剤、防湿処理 はぎ合わせ、足金物、裏打材	19.5.4 19.5.5 19.5.6	目視確認			施工状況	
畳敷き	材料	畳	規格、種別、防虫処理	19.6.2	見本品と照合 表示マーク等目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク等	適 宜
	工法	敷き込み	畳割り、段違い、隙間、不陸	19.6.3	目視確認			施工状況	適 宜
せっこう ボード・そ の他ホー ド・合板 張り	材料	せっこうボード その他ボード 合 板	種類、規格、寸法、防火性能 ホルムアルデヒド放散量	19.7.2	見本品と照合 表示マーク等目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク等	種別ごと 1
		特殊合板	規格、寸法、仕上げの種類、模 様、色						
		接着剤	規格、種別						
	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認		<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等		
		張付け	ねじ、釘の留付け間隔	19.7.3	目視確認			間隔のわか る物	適 宜
		せっこうボード 継ぎ目処理 工法	下塗り、テープ張り 中塗り、上塗り、仕上り状態		目視確認			施工状況	工程ごと 適宜
せっこうボード 直張り工法	接着剤の間隔、盛上げ高さ、仕 上げ面		目視確認			施工状況	適 宜		

19 内装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
壁紙張り	材料	壁紙	規格, 品質, 防火性能の等級	19.8.2	見本品と照合 表示マーク等目視確認	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (品質証明書)	表示マーク等	種別ごと 1	
		接着剤	規格, 種別, 使用量						
	施工	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認	<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等			
		下地処理	乾燥, ハテカい, 研磨, 防かび	19.8.3	ふくれ, はがれ, 模様のをずれを目 視確認		施工状況	工程ごと 1	
			張付け						仕上がり状態(ふくれ, はがれ, 模様のずれ)
断熱・防露	材料	断熱材	規格, 種類, 種別, 厚さ 難燃性	19.9.2 19.9.3	表示マーク等目視確認	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (規格証明書)	表示マーク等	適 宜	
			工法						打込み工法
	現場発泡工 法	断熱材補修	補修材料, 打込み不良箇所, 型枠 緊張用ボルト跡, コーンの撤去跡 開口部のモルタル詰め部分	1.1.15	製造所仕様と照合 厚さ計測確認	<input type="checkbox"/> 計測記録			
		製造所仕様 厚さ, 安全衛生対策							

20 ユニット及びその他の工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
共通	施工計画書 (品質計画)	工程表	現場実測時期, 施工図作成時期 製作時期, 搬入時期 取付施工時期	1. 2. 2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討 見本品及び製造所仕様と照合 配筋を定めた計算書で確認	□施工計画書 (□見本品添付) (□認定書(写)) (□配筋を定めた計算書)			
		現場組織	施工業者名, 製作所名 作業の管理組織, 品質管理組織						
		材 料	使用箇所, 使用材料, 材質, 形 状, 規格, 開閉機構, 防災性能, 色, 柄 鉄筋, 鉄線, 溶接金網, 型枠 取付け金物						
		製 作	コンクリート調合, 調合強度, 配筋方 法, 取付け金物の取付け方法, 型 枠組立, 養生時間・温度, 養生方法						
		工 法	取付け方法						
		一工程の施 工の確認及 び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1. 5. 4					
		品質管理	管理項目 (材料, 取付け位置 使用上の欠陥, 耐久性等) 管理方法						
ユニット工事 等	施工図等	割付図等	寸法, 位置	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較・検討	□割付図等			
		材料	フリーアクセスフロア 可動間仕切 移動間仕切 トレブラス	品質及び性能, 製造所仕様					20. 2. 2 ～ 20. 2. 5
		黒板, ホワイト ボード, フライ ント, ロールスク リーン, カーテン等	配置, 数量, 納まり	20. 2. 6 ～ 20. 2. 14	目視確認				
	工 法	取付け	寸法, 仕上り性能, 開閉機構		種類毎計測確認 開閉作動全数確認 目視確認	□計測記録 □確認記録	計測状況	適 宜	

20 ユニット及びその他の工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
プレキャスト コンクリート工 事	施工図等	製作図	寸法, 配筋, 継手, 定着, 取付け金物, 数量, かぶり厚さ, 取付け方法	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 製作図		
	材 料	レディミキスト コンクリート 鉄 筋	5節, 6節による	20. 3. 2	5節, 6節による				
		PC製品	配筋, 継手, 定着, 取付け金物, かぶり厚さ	20. 3. 3	コンクリート打設前に, 目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	配筋, 型枠 状況, コン クリート打 込み状 況	適 宜
			寸法, そり, むくり	20. 3. 3	タイプ別に両端中央3箇所について計測 長い部材の場合2mに1箇所	寸法 ±3 精度 ±2	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 社内検査成績書)	計測状況	適 宜
		取付け金物	防錆処理	20. 3. 2				防錆処理状 況	適 宜
	工 法	製品取付け 養生	取付け方法 養生方法	20. 3. 4	目視確認		<input type="checkbox"/> 確認記録	取付け状況	適 宜
間知石及 びコンクリート 間知ブロック 積み	施工図等	配置図 横断図 立面図	位置, 高さ, 水抜き処理, 勾配	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工図		
	材 料	間知石	材種	20. 4. 2	設計図書及び規格証明書と確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (<input type="checkbox"/> 規格証明書)	表示マーク 計測状況	適 宜
		コンクリート間知 ブロック	種類, 質量区分, 規格						
	工 法	根 切 り	深さ		5mごとに計測確認	±30	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜
		基 礎	厚さ 幅	20. 4. 3		- 5			
		水抜き穴	土砂流出防止マット及び砂利		目視確認			マットの形 状, 砂利等	適 宜
出来形		高さ, 幅, 勾配 長さ		5mごとに計測確認 計測確認		<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適 宜	
敷地境界 石標	施工図等	位置図 詳細図	位置, 形状, 材質	1. 2. 3	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工図		
	材料及び工 法	建て込み	精度	20. 5. 1 20. 5. 2	立 関係者立会いのうえ全数目視 確認		<input type="checkbox"/> 建て込み位置図 <input type="checkbox"/> 立会い者名簿	立会い状況 設置状況	適 宜

2.1 排水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
(仮設安全 計画等)	施工計画書 (品質計画)	工程表	着工・完成時期 官公署への届け出の時期 通水試験等の時期	1.2.2	承 設計図書及び施行条件等と比 較・検討	□施工計画書 (□規格表示許可書(写))			
		現場組織	施工業者名, 作業の管理組織 品質管理組織						
		材料	施工箇所, 材種, 形状, 寸法, 製造所, 規格, 強度等						
		工法	掘削方法, 埋戻し等 配水管敷設工法, 発生土処理方法						
	一工程の施 工の確認及 び報告	品質管理	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 配管や樹の形状, 寸法, 固定度, 通水性能等) 管理方法						
	仮設計画	山留め, 排水工法							
	安全環境対 策	安全衛生組織 山留め管理, 安全通路	1.1.15	工事施行条件等を検討					
施工図等	配置図	管の位置, 勾配, 径・材質, 樹の 位置・深さ・仕上げ高さ	1.2.3	承 設計図書, 工事施行条件等を 比較・検討	□施工図				
	断面図(縦, 横断)								
	各部詳細図	各部収まり, 他工事との取合い							
材料	排水管, 側 塊, 排水樹, クレーン等	材種, 管の種類, 形状, 強さ, 呼び径, 厚さ, 調合, 強度等 ふたの種類, 名称, 用途	21.2.2	規格証明書, 表示マーク等と照合	□材料搬入報告書 □材料検査記録 (□規格証明書)	表示マーク	適 宜		
工法	根切り	深さ, 勾配	21.3.3	5m程度毎に計測	±30	□計測記録	計測状況及 び施工状況	適 宜	

2.1 排水工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
工法		地業	4.6.3及び4.6.5により敷き込み、締め固め、厚さ等	21.3.3	5mごとに計測	±20	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況及び施工状況	適 宜	
		排水管敷設	管低高さ、勾配埋戻し材料、締め固め、接合部、桝との取合い高さ		全数計測 全数目視確認	±10かつ逆勾配の無いこと				
		排水桝据付け	深さ、水平度		全数計測又は目視等の確認	±15	<input type="checkbox"/> 計測記録	計測記録及び施工状況	適 宜	
		マンホールふた	高さ、防錆処置、安定性、種類							屋外±5 屋内±3
		グレーチング等	高さ、防錆処置、安定性、種類							0～-10
		出来形計測	桝、排水管等の位置、寸法		計測確認		<input type="checkbox"/> 出来形図			
		通水試験	排水状況		全数目視確認		<input type="checkbox"/> 試験記録	試験の状況	適 宜	

2.2 舗装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	施工計画書 (品質計画)	工程表	着工・完成時期、他工事との関連、試験の時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討 承 配合計画書を検討	<input type="checkbox"/> 施工計画書 (□配合計画書) (□マーシャル安定度試験結果) (□配合表) (□規格表示許可書(写))			
		現場組織	施工業者名、作業管理組織、品質管理組織						
		材料	製造所名、使用材料名(再生材使用の確認)、施工箇所、品質、アスファルト混合物の配合、試験練り						
		工法	舗装の構造、施工機械 目地割り及び目地の構造 路床の不良土及び障害物の処置 発生土の処理方法、締固め方法 舗装工法、養生方法 試験・仕上がり確認方法						
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
	品質管理	管理項目(材料、仕上りの形状、寸法、仕上り面の状態、耐荷重性能等) 管理方法							
(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 重機対策、騒音対策、飛散防止、道路汚染対策	1.1.15	工事施行条件等を検討					
施工図等	平面図 断面図等	勾配、高さ、目地、縁石の位置、他工事との取合い	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等と比較・検討		<input type="checkbox"/> 施工図			
材料	路床 路盤 コンクリート舗装	種類・種別、規格、呼び名、数量	22.2.3	材料データ資料等により目視確認 22.5.3及び6節14項による		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (□規格証明書) (□品質証明書)	搬入材料の 状況	適宜	
			22.3.3						
			22.5.3						

2.2 舗装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料						
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真					
								内 容	枚 数				
	材料	アスファルト舗装	規格, 種別	22.4.3	品質証明書により目視確認		<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 (□規格証明書) (□品質証明書)	搬入材料の 状況	適宜				
		透水性舗装	規格, 種別	22.6.3									
		排水性舗装	規格, 種別	22.7.3									
		ブロック系舗 装街きよ, 縁石, 側溝 砂利敷き区 画線	規格, 種類, 形状, 寸法, 表面 加工等	22.8.3						表示マーク目視確認		表示マーク	適宜
				22.9.2									
			22.10.2										
			22.11.1										
	工法	路床	締固め, 盛土		22.2.4	目視確認			締固め状況	適宜			
			転圧後の高さ		22.2.2	50㎡ごとに高さ計測	共 22.2.2(b)に よる	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 試験成績書	計測状況	適宜			
			CBR試験(JIS A1211による)		22.2.5				試験状況				
		路盤	締固め		22.3.4	目視確認			締固め状況	適宜			
			転圧後の高さ		22.3.2	50㎡ごとに高さ計測	共 22.3.2(c)に よる	<input type="checkbox"/> 計測記録 <input type="checkbox"/> 試験成績書	計測状況	適宜			
			締固め度試験		22.3.5	承 基準密度を求める。 現場密度を1,000㎡以下は3箇 所, 1,000㎡を超える場合はさらに 1,000㎡ごと及びその端数につき1 箇所測定する			共 22.3.2(b)に よる				
			路盤厚		22.3.5	500㎡ごと及びその端数につき1 箇所測定		<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜			
		アスファルト舗装	実施配合(骨材, アスファルト量)		22.4.4	承 マーシャル安定度試験により確認 プラント資料(1時間毎)		<input type="checkbox"/> 配合表 <input type="checkbox"/> 試験報告書					
混合温度						185℃未満							
混合物の敷きならし温度				22.4.5	トラック1台ごと 測定記録は午前, 午後計2回	110℃以上	<input type="checkbox"/> 測定記録	計測状況	適宜				

2.2 舗装工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料			
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真		
								内 容	枚 数	
工法	アスファルト舗装	アスファルト乳剤散布状況	転圧状況	22.4.5	目視確認		<input type="checkbox"/> 使用量報告書	散布状況	適宜	
								転圧状況	適宜	
		平たんさ	22.4.6	目視確認(散水等による水溜まり)	0.5㎡以下の水たまり				確認状況	適宜
									確認状況	適宜
		締固め度試験	22.4.2	表層及び基層ごとに2,000㎡以下は3個, 2,000㎡を超える場合はさらに, 2,000㎡ごと及び端数につき1個増しのコアを採取	共 22.4.2(b)による	<input type="checkbox"/> 試験成績書			試験状況	適宜
									試験状況	適宜
	舗装厚さ	22.4.6	アスファルト混合物の抽出試験							
	コンクリート舗装	打設時の気温	22.5.4	2℃以下の打設の場合	2℃以上				確認状況	適宜
									確認状況	適宜
		養生	22.5.5	寒冷時初期養生, 後期養生	所定強度		<input type="checkbox"/> 測定記録			
	コンクリート版の厚さ	22.5.6	特記された数のコア面4点の平均値	共 表22.5.1による						
平たんさ	22.5.6	目視確認(散水等による水溜まり)	0.5㎡以下の水たまり							
透水性, 排水性舗装	4項アスファルト舗装に準じる	22.6 22.7								
ブロック系舗装	クッション材の施工・厚さ, 敷き込み・転圧状況, 勾配, 平たんさ確認	22.8.4 22.8.5	計測 目視確認			<input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜		
							確認状況	適宜		
街きよ, 縁石及び側溝砂利敷き	地業, 水勾配, 据付けの通り, 寒冷期施工の養生	22.9.3 22.10.3	目視確認状況(地業は計測)			<input type="checkbox"/> 計測記録	確認状況	適宜		
							確認状況	適宜		
出来形	出来形図		面積, 主要勾配		計測及び施工図との照合		<input type="checkbox"/> 出来形図			

2.3 植栽工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	施工計画書 (品質計画)	工程表	着工・完成時期	1.2.2	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較, 検討	□施工計画書 (□資格証明書(写)) (□品質証明書)			
		現場組織	施工業者名, 作業の管理組織 品質管理組織, 技能士(造園)						
		材料	樹種, 数量, 材料供給者名, 生産地, 土壌改良材, 肥料, 植込み用土, 支柱						
		工法	植栽地の確認等 植栽基盤 樹木等の運搬方法 植穴の形状 支柱の材質・形状 移植の方法						
		一工程の施工の確認及び報告	施工の確認及び監督員への報告 実施時期	1.5.4					
		品質管理	管理項目(材料, 樹木・支柱の形状, 寸法, 植込み位置, 樹形, 傷, 活着等) 管理方法						
	枯補償等	新植の枯補償期間 移植の枯損処置等							
(仮設安全計画等)	安全環境対策	安全衛生組織 道路の汚染, 砂ぼこり	1.1.15	工事施行条件等を検討					
施工図等	配置図	樹木の配置 芝, 吹付けは種, 地被類の面積	1.2.3	承 設計図書及び工事施行条件等 と比較, 検討	□施工図				

2.3 植栽工事

区分	管 理 内 容				管 理 方 法	管 理 目 標 値	提 出 資 料		
	項 目	細 目	要 点	共仕該 当項目			資 料	写 真	
								内 容	枚 数
	材料	樹木	樹高，葉張り，幹周	23.3.2	計測(高木:全数，低木25%)	指定寸法以上	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 <input type="checkbox"/> 計測記録	計測状況	適宜
			樹種，根巻き状況，発育状況 数量		目視確認				
		植栽基盤， 植込み用土， 土壤改良材， 肥料	種類，数量，品質	23.2.3	搬入量を確認(土壤改良材は土壤 との整合性を証明する資料及び使 用量確認)。	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録 <input type="checkbox"/> 品質証明書 <input type="checkbox"/> 使用量報告書	搬入状況		
		芝，吹付け は種，地被 類		23.4.2	搬入量，品質条件等確認 目視確認	<input type="checkbox"/> 材料搬入報告書 <input type="checkbox"/> 材料検査記録			
	工法	技能士	資格	1.5.2	資格を証明する資料により確認	<input type="checkbox"/> 資格証明書(写)等			
			植栽基盤	各層の厚さ，耕うん・かくはん状況， 整地・整形	23.2.4	目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録	施工状況	
		新植・移植	植穴の深さ，幅，支柱，養生等	23.3.3	全数定規等を用いて目視確認	<input type="checkbox"/> 確認記録		樹種ごと に10% 以上	
				23.3.5					
		芝張り，吹 付けは種， 地被類	芝張り方法，目地入れ方法，目 土散布・吹き付け方法	23.4.3 ～ 4.5	目視確認		適宜		
	養生	樹木，芝等	せん定，かん水，雑草除去等	23.3.3 23.4.6					
出来形図等	出来形	樹木，芝，吹付けは種，地被類 の配置，面積，種目リスト		設計図により確認	<input type="checkbox"/> 完成図				
	枯補償等	新植樹木の枯補償の期間 移植樹木の枯損処置を行う期間	23.3.4 23.3.6 23.4.7		<input type="checkbox"/> 枯損処置報告書				